令和8年度

消防水利整備事業

豊栄町安宿地区耐震性貯水槽整備設計施工一括工事

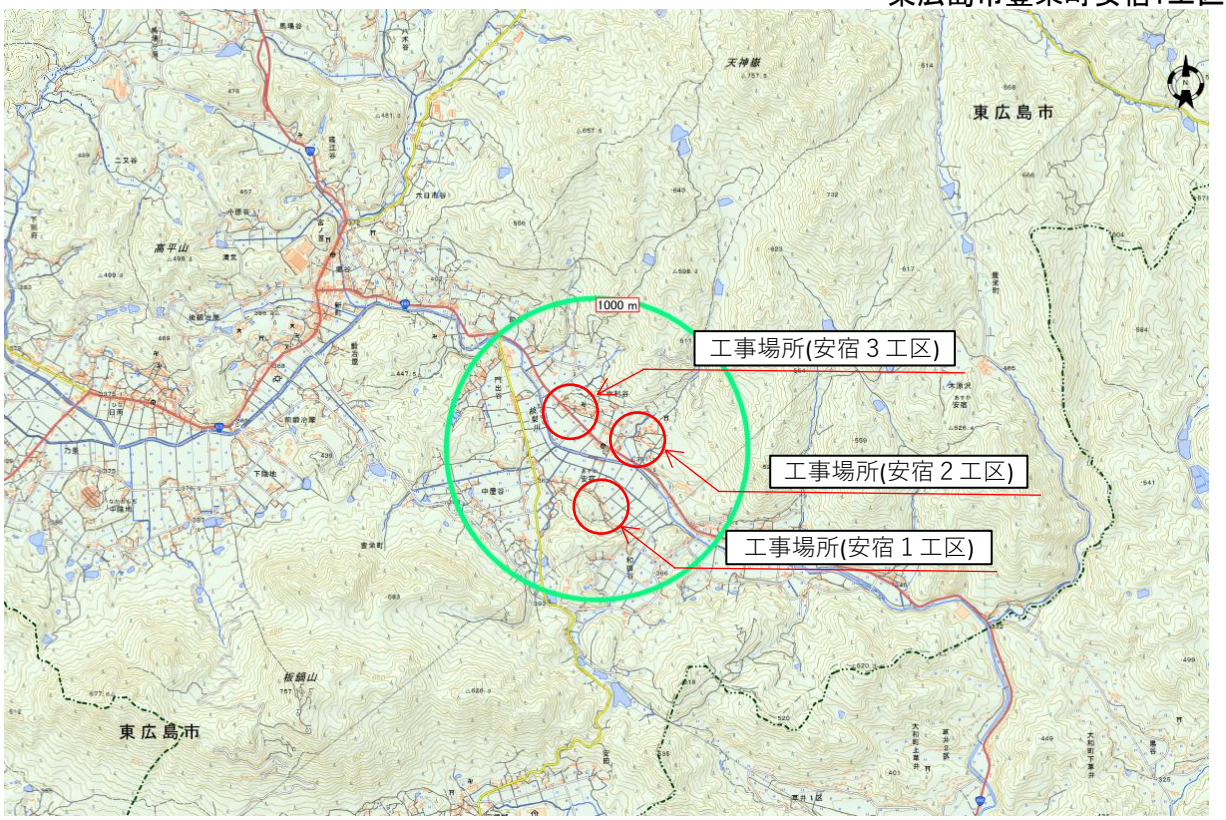
仕様書

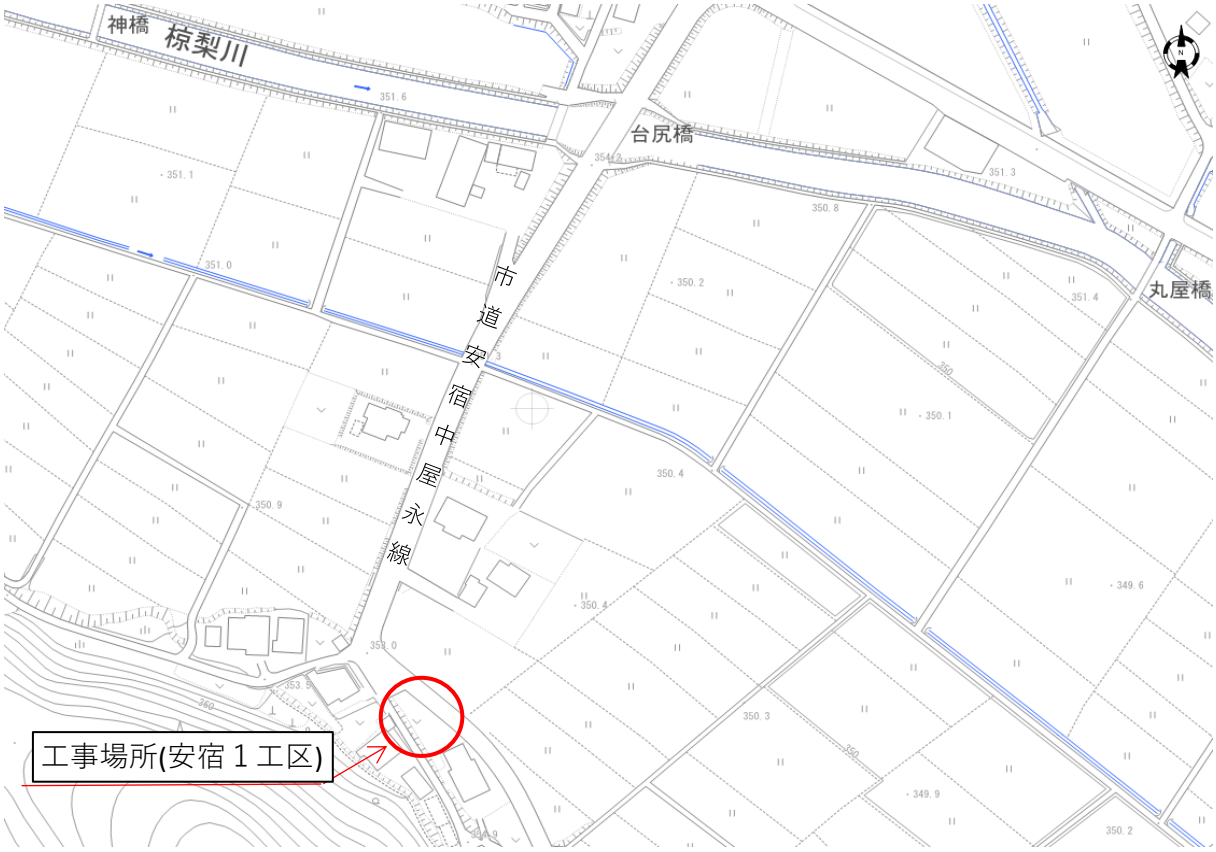
工　事　場　所　　東広島市豊栄町安宿

東広島市

位　　置　　図

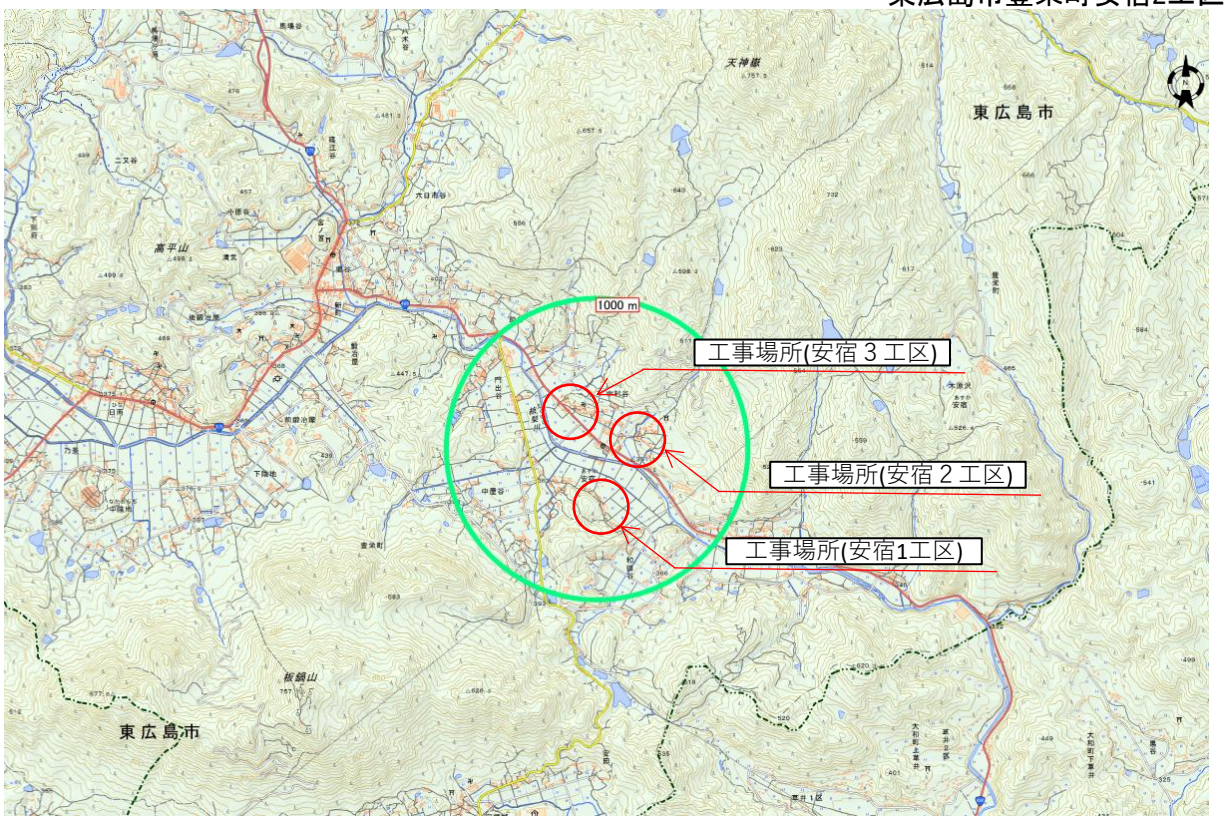
東広島市豊栄町安宿1工区





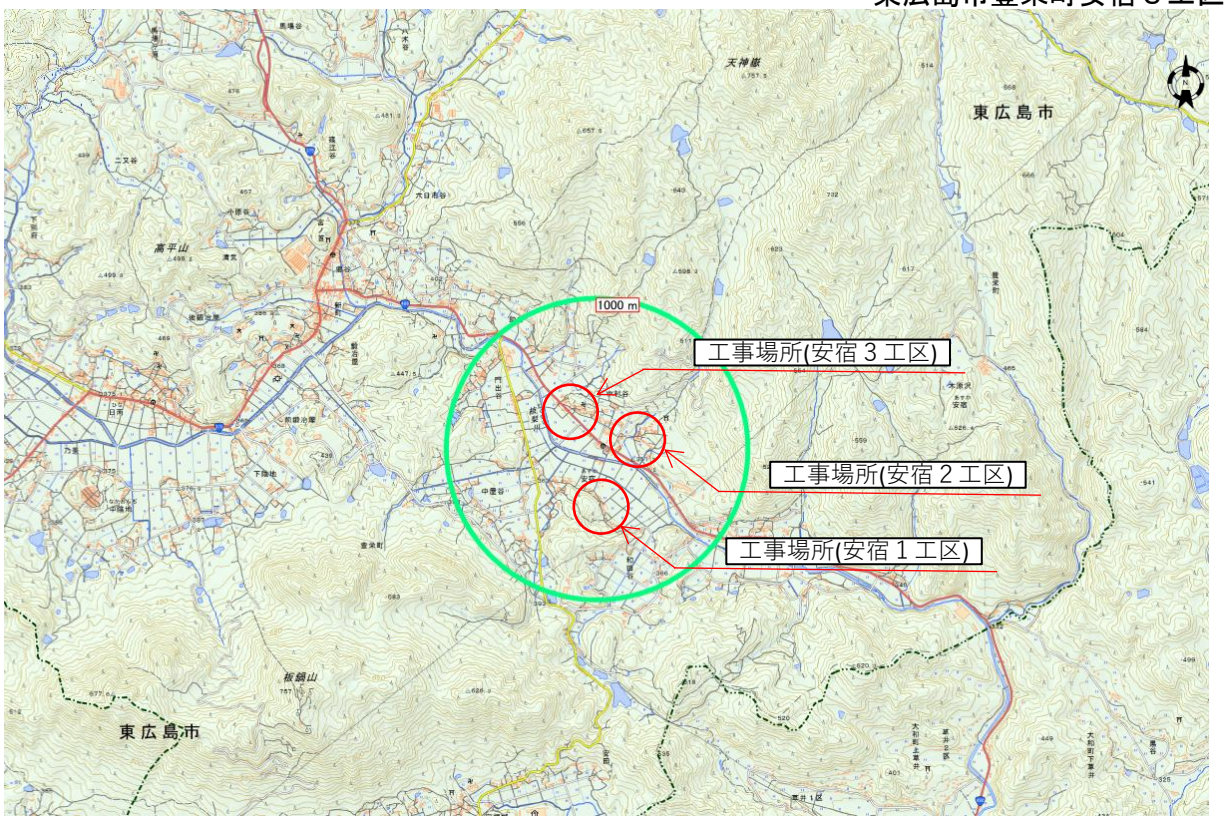
位　　置　　図

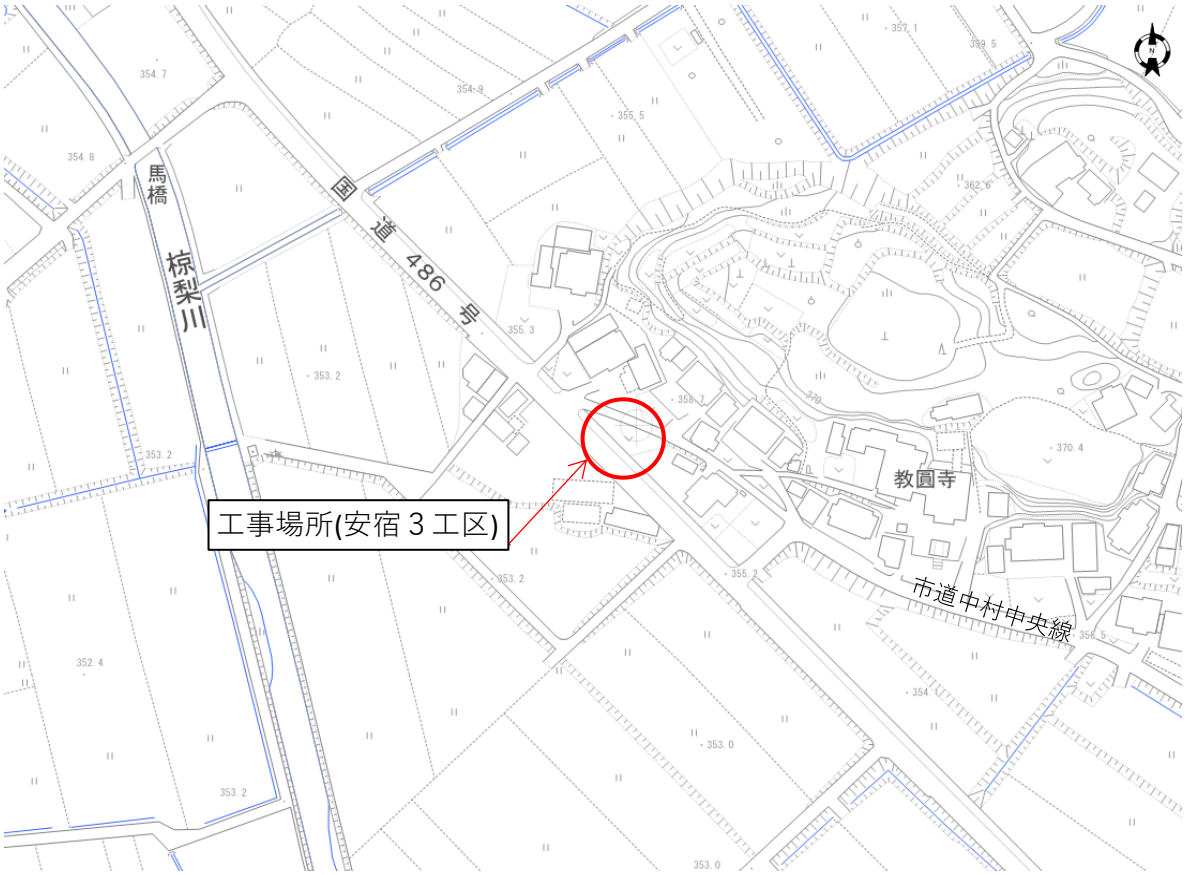
東広島市豊栄町安宿2工区



位　　置　　図

東広島市豊栄町安宿３工区





特　記　仕　様　書

（豊栄町安宿地区耐震性貯水槽整備設計施工一括工事）

第1章　総則

1.　適用
2.　前払金
3.　現場代理人の兼務
4.　履行報告
5.　官公庁等への手続き等
6.　工事中情報共有システム（発注者指定型）
7.　熱中症対策に資する現場管理費の補正
8.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
9.　法定外の労災保険の付保
10.　週休２日適用工事等　週休２日
11.　建設副産物の取り扱いについて
12.　管理技術者の配置

第2章　施工条件

1.　用地
　(1) 現場の復旧
2.　安全対策
　(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
　(2) 架空線の防護管に要する費用について
3.　盛土・埋戻土
　(1) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)
4.　建設副産物
　(1) 建設発生土(搬出)　(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))
　(2) コンクリート殻（無筋）(搬出)
　(3) アスファルト殻(搬出)
5.　その他
　(1) 設計費について
　(2) 耐震性貯水槽について
　(3) 水張試験について

第3章　その他

1.　工事関係書類
2.　工事写真
3.　疑義の解決等
4.　仮設工
5.　参考図書

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和７年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものに

あっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3.　現場代理人の兼務

1　現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

2　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

3　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4.　履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

5.　官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

6.　工事中情報共有システム（発注者指定型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。
（２）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
　広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）
　http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html
（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
（６）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
　この場合においては、次のとおりとする。
　１）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
　２）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
　３）「4.検査」は適用しない。

４）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
５）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7.　熱中症対策に資する現場管理費の補正

（１）　本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

（２）　工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

（３）　真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数　(WBGT）を対象とする。

（４）　気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

（５）　受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。

（６）　受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

（７）　積算方法は次のとおりとする。

１）補正方法

ア　受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ　真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ　補正値（%）＝真夏日率×1.2

２）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

（８）　受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

（９）　検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

8.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9.　法定外の労災保険の付保

１　本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

２　受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

３　法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10.　週休２日適用工事等　週休２日

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

11.　建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり

取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1　再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに

当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4) 建設発生土の搬出量
(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

12. 管理技術者の配置

受注者は契約後、次に該当する者を管理技術者として配置しなければならない。

(1) 技術上の管理を行ううえで必要な能力と経験を有している者。

(※直接的かつ恒常的な雇用関係は必要としない。また、主任技術者と兼ねることができる。)

第2章　施工条件

1.　用地

(1) 現場の復旧

耐震性貯水槽設置時に使用した用地は、所有者に復旧状況の確認をしてもらうこと。

2.　安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から3日間(1人／日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3.　盛土・埋戻土

(1) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)

本工事では、安宿1工区で149m3(ほぐし)、安宿２工区で144m3(ほぐし)、安宿３工区で134m3(ほぐし)　の土砂購入を見込んでいる。

① 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクル

プラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費(工場渡し)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用(単価)は変更しない。

② ①により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。

③ 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

安宿1工区・粘性土

（名称）　有限会社広剛産業福富残土処分場1

（所在地）　東広島市福富町上戸野大井出1460-1

（運搬距離）　11.3ｋｍ

安宿2工区・粘性土

（名称）　有限会社広剛産業福富残土処分場1

（所在地）　東広島市福富町上戸野大井出1460-1

（運搬距離）　11.5ｋｍ

安宿3工区・処理土、粘性土

（名称）　有限会社ドイ産業リサイクル施設

（所在地）　東広島市豊栄町安宿273-3

（運搬距離）　2.8ｋｍ

(2) コンクリート殻（無筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　2.8ｋｍ　を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　2.8ｋｍ　を見込んでいる。

5. その他

(1) 設計費について

本工事は一般的な耐震性貯水槽の構造を基に設計図を作成している。

受注者は、工事着手前に現場条件を踏まえ、設計計画、設計条件の確認及び調査、構造形式の選定、関係機関との協議を行い、とりまとめた報告書を監督職員に提出し、協議すること。

具体的な業務内容は以下の表のとおりとする。また、工事着手までに実施設計図及び数量計算を作成し、監督職員の承諾を得ること。承諾を得た実施設計図及び数量計算に基づき変更精算を行う。設計費は正当な理由がある場合を除き、変更の対象としない。

設計項目	業務内容
設計計画	業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書を作成する。
設計条件の確認及び調査	構造、荷重条件、消防活動に関する条件等設計施工上の基本的条件並びに地質条件を確認し、当該設計用に整理を行う。
構造形式選定	構造形式（コンクリート構造若しくはFRP構造）について、構造特性、施工性、経済性、維持管理など総合的な観点から技術的特徴、課題を整理し、評価を加えて、監督職員と協議のうえ、設計比較（案）の作成を行う。
実施設計図の作成	平面図、横断図、構造図、詳細図、仮設図（参考図）等を作成する。
数量計算書の作成	決定した設計に対して、数量算出要領に基づき、工種毎に数量を算出する。
関係機関との協議資料作成	地権者又は関係機関との協議用資料・説明用資料を作成し、その結果を設計条件として反映させる。
報告書作成	設計計画、設計条件の確認及び調査、構造形式選定、実施設計図の作成、数量計算書、関係機関との協議資料作成等の内容のとりまとめを行う。

(2) 耐震性貯水槽について

本工事に使用する耐震性貯水槽は、(一財)日本消防設備安全センター認定の製品であること。設置後は速やかに(一財)日本消防防設備安全センターへ個別認定申請を行い、完了検査前に認定書を提出すること。使用する製品（メーカー）の相違による数量等は変更対象としない。

(3) 水張試験について

耐震性貯水槽への注水は水道水を使用すること。監督職員の承諾を得て埋戻しを行った後、耐震性貯水槽を満水状態にすること。満水状態にした日から1週間経過するまで、毎日1回水位の計測を行い監督職員に報告すること。

第3章　その他

1.　工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和７年８月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3.　疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4.　仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。

なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

5.　参考図書

施工に関しては(一財)日本消防設備安全センター発行の「耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル（平成17年6月）」に準ずること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
豊栄町安宿地区(1工区)					
耐震性貯水槽		式		1	レベル1
土工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	【粘性土】	m3		180	レベル4
残土等処分	【粘性土】	m3		180	レベル4
基礎工		式		1	レベル2
基礎工		式		1	レベル3
基礎コンクリート	【18-8-40BB】	m3		2	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4
基礎砕石	【RC-40】	m2		24	レベル4
耐震性貯水槽工		式		1	レベル2
耐震性貯水槽		式		1	レベル3
耐震性貯水槽		式		1	レベル4
散水車		日		1	レベル4
水道料金		m3		40	レベル4
張りコンクリート		式		1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
張りコンクリート		式		1	レベル3
基礎材	【RC-40,敷厚10cm】	m2		66	レベル4
コンクリート	【18-8-40BB】 【一般養生】	m3		7	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4
防草コンクリート		式		1	レベル2
防草コンクリート		式		1	レベル3
コンクリート	【18-8-40BB】 【一般養生】	m3		1	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4
標識工		式		1	レベル2
標識工		式		1	レベル3
標識柱	【φ60.5×2.3×3000】	基		1	レベル4
標識板	【φ600,アルミ合金】	枚		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		1	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
運搬費					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		t		3	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
土質試験費		式		1	レベル4
設計費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊工事費＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
豊栄町安宿地区(2工区)					
耐震性貯水槽		式		1	レベル1
土工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	【粘性土】	m3		180	レベル4
残土等処分	【粘性土】	m3		180	レベル4
基礎工		式		1	レベル2
基礎工		式		1	レベル3
基礎コンクリート	【18-8-40BB】	m3		4	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4
基礎砕石	【RC-40】	m2		25	レベル4
モルタル練		m3		0.7	レベル4
耐震性貯水槽工		式		1	レベル2
耐震性貯水槽		式		1	レベル3
耐震性貯水槽		式		1	レベル4
散水車		日		1	レベル4
水道料金		m3		40	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
張りコンクリート		式		1	レベル2
張りコンクリート		式		1	レベル3
基礎材	【RC-40,敷厚10cm】	m2		63	レベル4
コンクリート	【18-8-40BB】 【一般養生】	m3		6	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4
標識工		式		1	レベル2
標識工		式		1	レベル3
標識柱	【φ60.5×2.3×3000】	基		1	レベル4
標識板	【φ600,アルミ合金】	枚		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		1	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		t		0.8	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
土質試験費		式		1	レベル4
設計費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
豊栄町安宿地区(3工区)					
耐震性貯水槽		式		1	レベル1
土工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	【粘性土】	m3		180	レベル4
残土等処分	【粘性土】	m3		180	レベル4
基礎工		式		1	レベル2
基礎工		式		1	レベル3
基礎コンクリート	【18-8-40BB】	m3		4	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4
基礎砕石	【RC-40】	m2		25	レベル4
モルタル練		m3		0.7	レベル4
耐震性貯水槽工		式		1	レベル2
耐震性貯水槽		式		1	レベル3
耐震性貯水槽		式		1	レベル4
散水車		日		1	レベル4
水道料金		m3		40	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
張りコンクリート		式		1	レベル2
張りコンクリート		式		1	レベル3
基礎材	【RC-40,敷厚10cm】	m2		66	レベル4
コンクリート	【18-8-40BB】 【一般養生】	m3		7	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	【240[240×240×600]】	m		9	レベル4
集水桝・マンホール工		式		1	レベル3
現場打ち集水桝	【現場打ち集水桝,18-8-40BB】	箇所		2	レベル4
場所打水路工		式		1	レベル3
現場打水路	【内幅300,内高350,18-8-40BB】	m		5	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【無筋構造物,機械施工】	m3		2	レベル4
舗装版切断	【As舗装版,t=3cm】	式		1	レベル4
舗装版破砕	【As舗装版,t=3cm】	m2		3	レベル4
排水構造物撤去工		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
暗渠排水管撤去	【撤去】	m		7	レベル4
集水桝撤去	【製品質量50(kg/基)】	基		1	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	【Co殻】	m3		2	レベル4
殻運搬	【As殻】	m3		0.1	レベル4
殻処分	【Co殻】	t		6	レベル4
殻処分	【As殻】	t		0.2	レベル4
標識工		式		1	レベル2
標識工		式		1	レベル3
標識柱	【φ60.5×2.3×3000】	基		1	レベル4
標識板	【φ600,アルミ合金】	枚		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		1	レベル4
舗装		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
下層路盤(歩道部)	【RC-40,仕上り厚10cm】	m2		4	レベル4

工事数量総括表

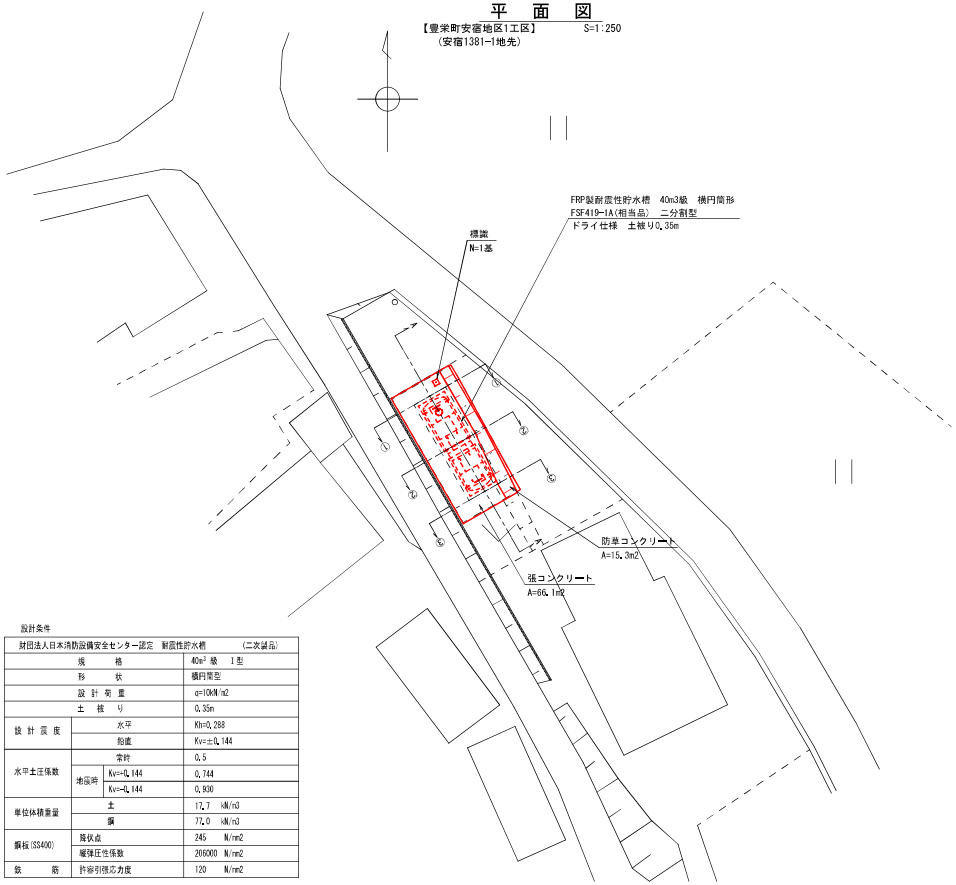
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
表層(歩道部)	【再生密粒度アスコン(13)】 【舗装厚3cm,平均幅員1.4m未満】	m2		4	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
土質試験費		式		1	レベル4
設計費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

平　面　図

【豊栄町安宿地区1工区】　S=1:250
（安宿1381-1地先）



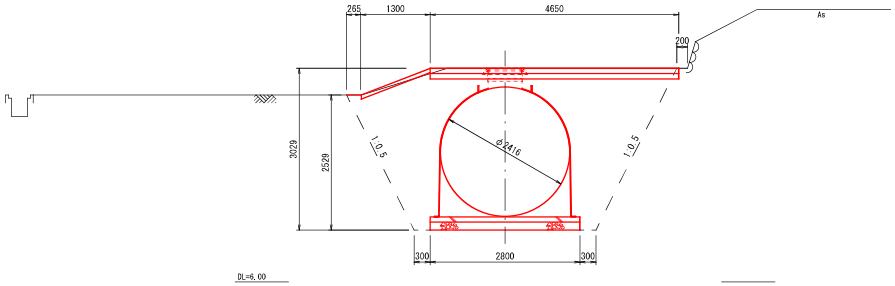
設計条件

財団法人日本消防設備安全センター認定　耐震性貯水槽　（二次試品）			
規　格			40m³ 級　Ⅰ型
形　状			横円筒型
設計荷重			α=10kN/m2
土　被　り			0.35m
設計震度	水平		Kh=0.288
	鉛直		Kv=±0.144
水平土圧係数	常時		0.5
	地震時	Kv=-0.144	0.744
		Kv=-0.144	0.800
単位体積重量	土		17.7　kN/m3
	鋼		77.0　kN/m3
鋼板(SS400)	降伏点		245　N/mm2
	縦弾性係数		206000　N/mm2
鉄　筋	許容引張応力度		120　N/mm2

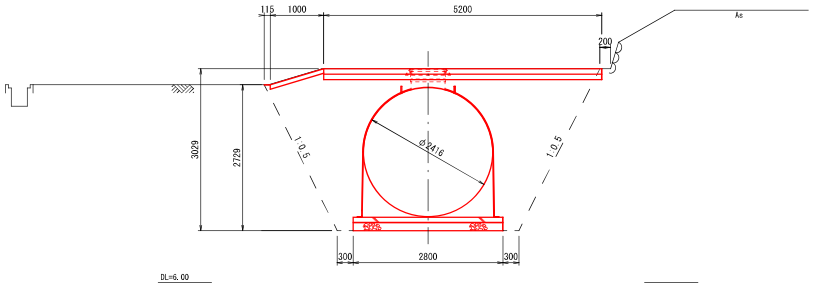
横　断　面　図

S=1:50

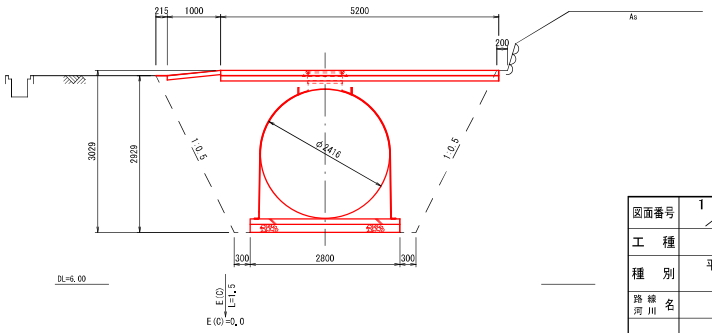
D=1.60
③－③
GH=10.00
FH=10.00
E(C)=0.0
E(C) L=1.5
E(C) =14.3
K = 2.8



D=5.15
②－②
GH=10.00
FH=10.00
E(C) =14.7
K = 2.8



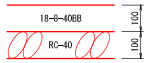
D=5.15
①－①
GH=10.00
FH=10.00
E(C) =14.8
K = 2.8



詳　細　図

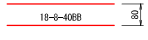
S=1:10

張コンクリート



コンクリート　= 66.1 m2
　　= 6.6 m3
型枠　= 3.7 m2
路盤(再生砕石)　= 66.1 m2

防草コンクリート
（法面）

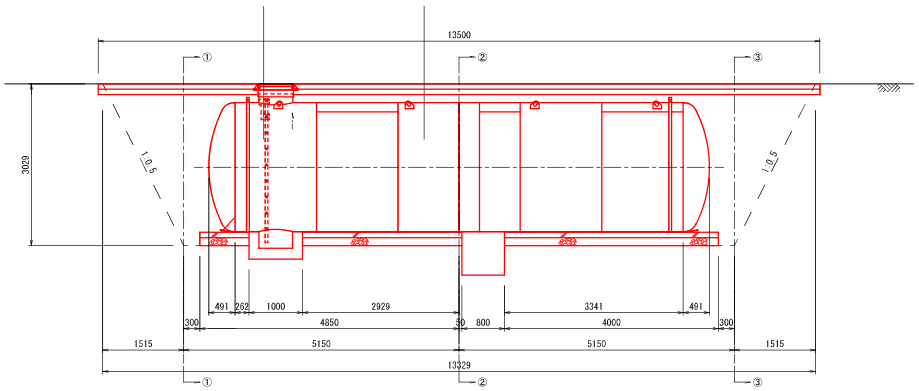


コンクリート　= 15.3 m2
　　= 1.2 m3
型枠　= 1.3 m2

縦　断　面　図

S=1:50

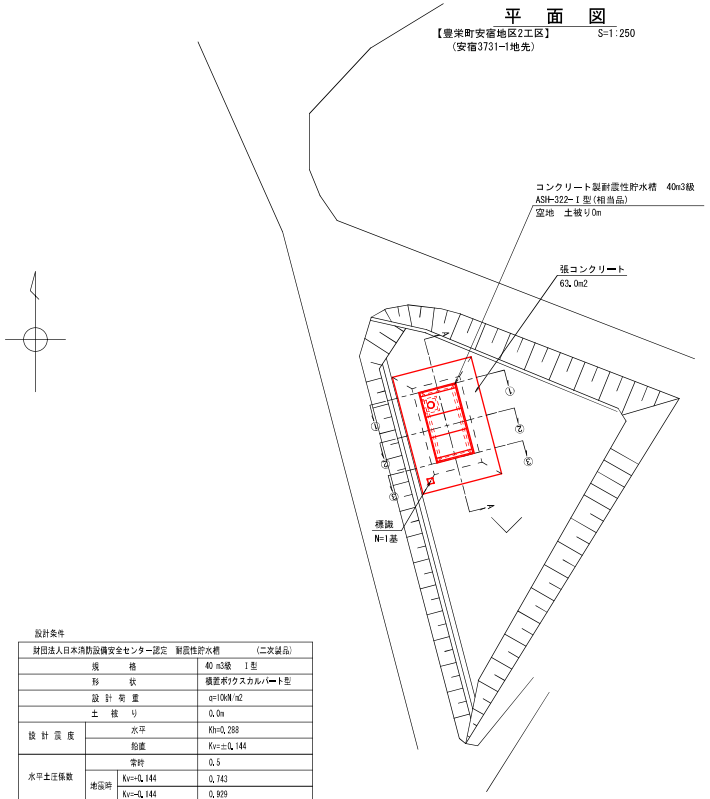
A－A



図面番号	1／6	縮尺	図示	
工種	消防水利事業			
種別	平面図・縦断面図・横断面図・詳細図	番号	1／1	
路線河川名				
	東広島市豊栄町安宿			
	東広島市			

平　面　図

【豊栄町安宿地区2工区】　S=1:250
（安宿3731-1地先）



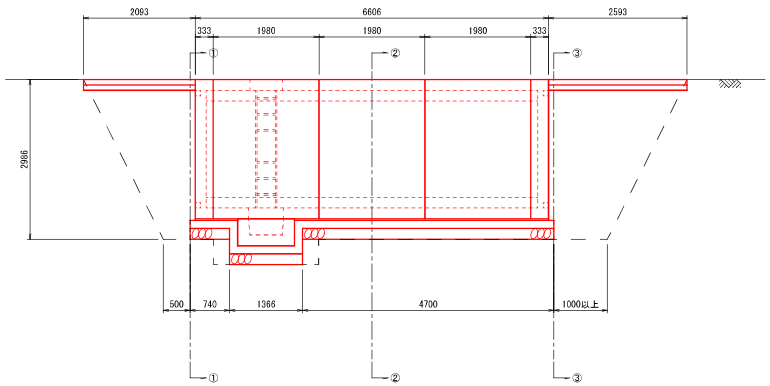
設計条件

財団法人日本消防設備安全センター認定　耐震性貯水槽　（二次試品）			
規　格			40 m3級　Ⅰ型
形　状			横置ボックスカルバート型
設計荷重			q=10kN/m2
土　被り			0.0m
設計震度	水平		Kh=0.288
	鉛直		Kv=±0.144
水平土圧係数	常時		0.5
	地震時	Kv=-0.144	0.743
		Kv=-0.144	0.929
単位体積重量	土		17.7　kN/m3
	鉄筋コンクリート		24.5　kN/m3
コンクリート	設計基準強度		40　N/mm2
	許容圧縮応力度		14　N/mm2
	許容せん断応力度		0.55　N/mm2
鉄　筋	許容引張応力度		120　N/mm2

縦　断　面　図

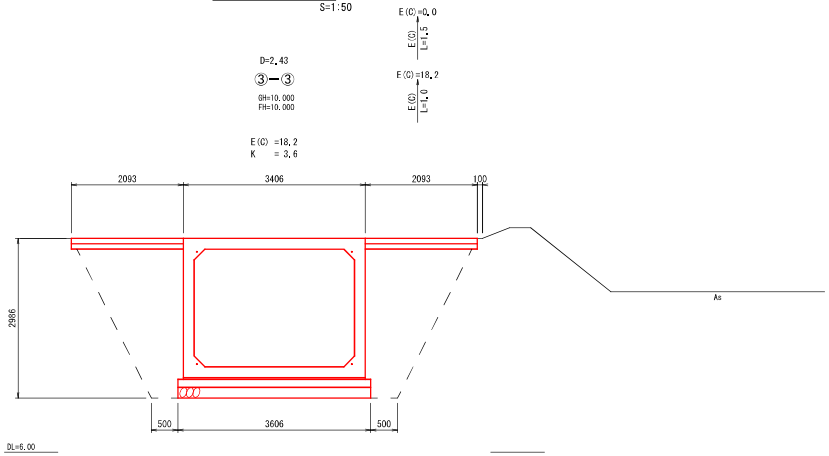
S=1:50

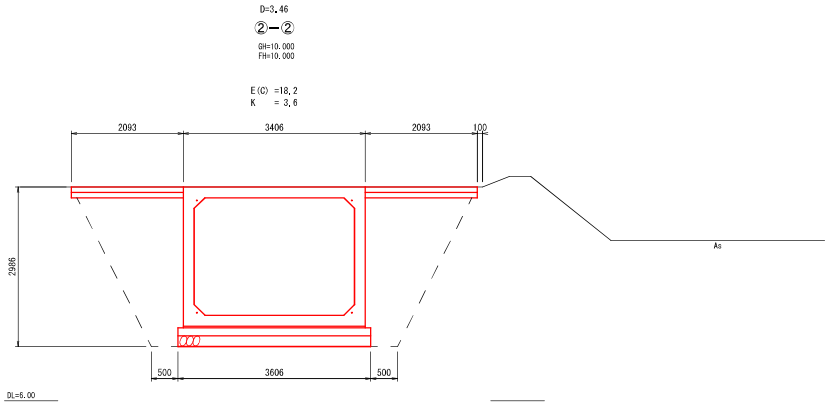
A－A

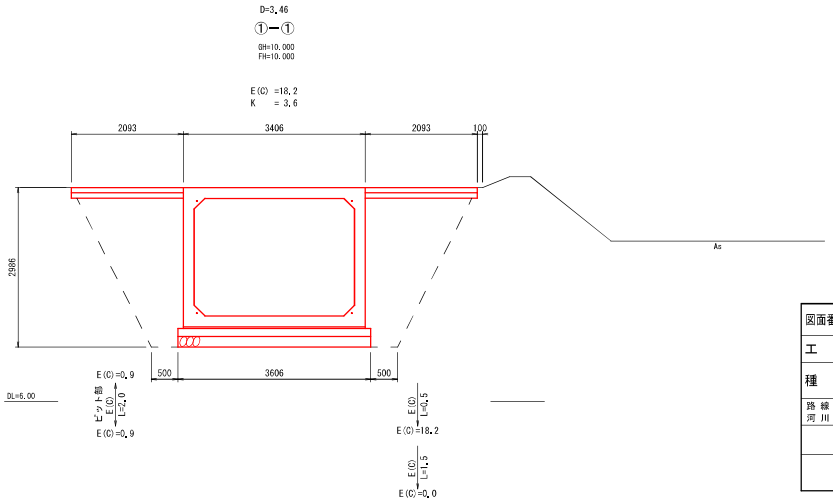


横　断　面　図

S=1:50



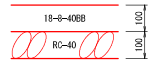




詳　細　図

S=1:10

張コンクリート

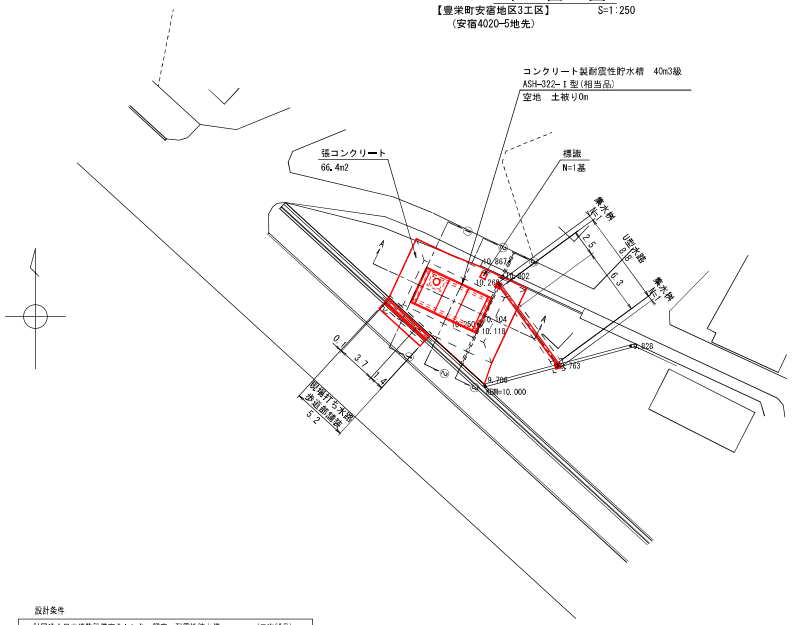


コンクリート	=	63.0 m2
	=	6.3 m3
型枠	=	3.8 m2
路盤(再生砕石)	=	63.0 m2

図面番号	2／6	縮尺	図示
工種	消防水利事業		
種別	平面図・縦断面図・横断面図・詳細図	番号	1／1
路線河川名			
	東広島市豊栄町安宿		
	東広島市		

平　面　図

【豊栄町安宿地区3工区】　S=1:250
（安宿4020-5地先）

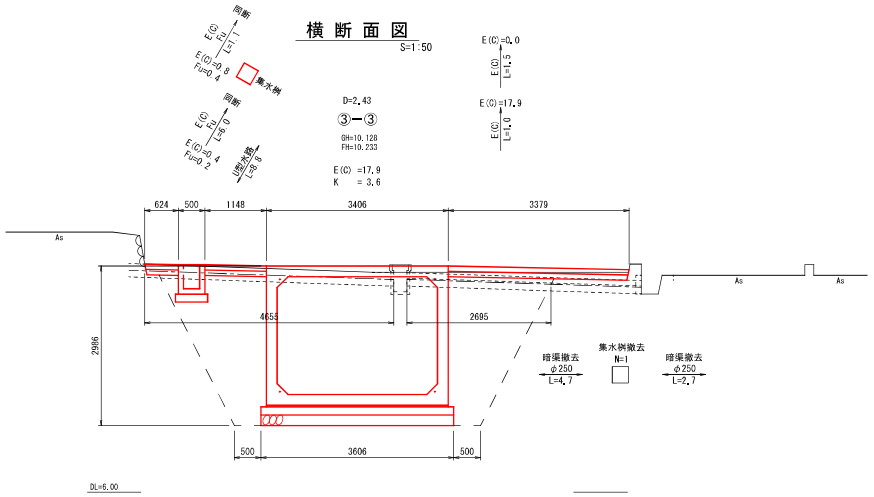


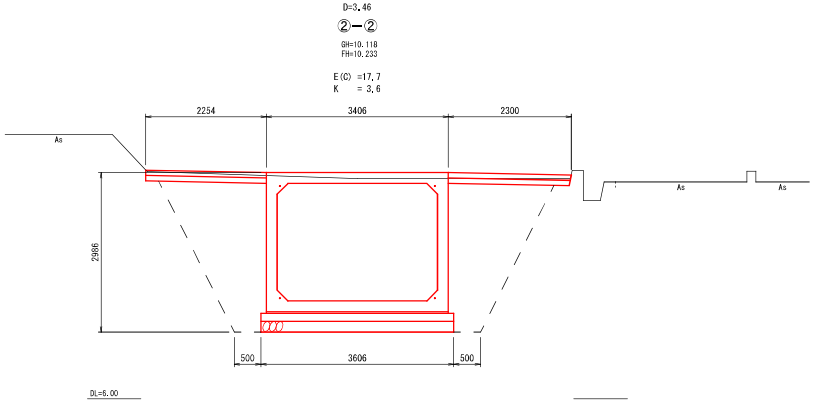
設計条件

財団法人日本消防設備安全センター認定　耐震性貯水槽　（二次試品）			
規　格			40m³ 級　Ⅰ型
形　状			横置ボックスカルバート型
設計荷重			q=10kN/m2
土　被　り			0.0m
設計震度	水平		Kh=0.288
	鉛直		Kv=±0.144
水平土圧係数	常時		0.5
	地震時	Kv=-0.144	0.743
		Kv=-0.144	0.929
単位体積重量	土		17.7　kN/m3
	鉄筋コンクリート		24.5　kN/m3
コンクリート	設計基準強度		40　N/mm2
	許容圧縮応力度		14　N/mm2
	許容せん断応力度		0.55　N/mm2
鉄　筋	許容引張応力度		120　N/mm2

横　断　面　図

S=1:50

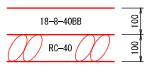




詳　細　図

S=1:10

張コンクリート

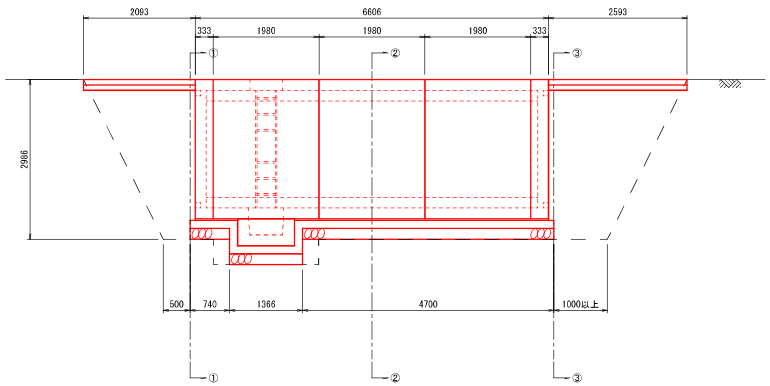


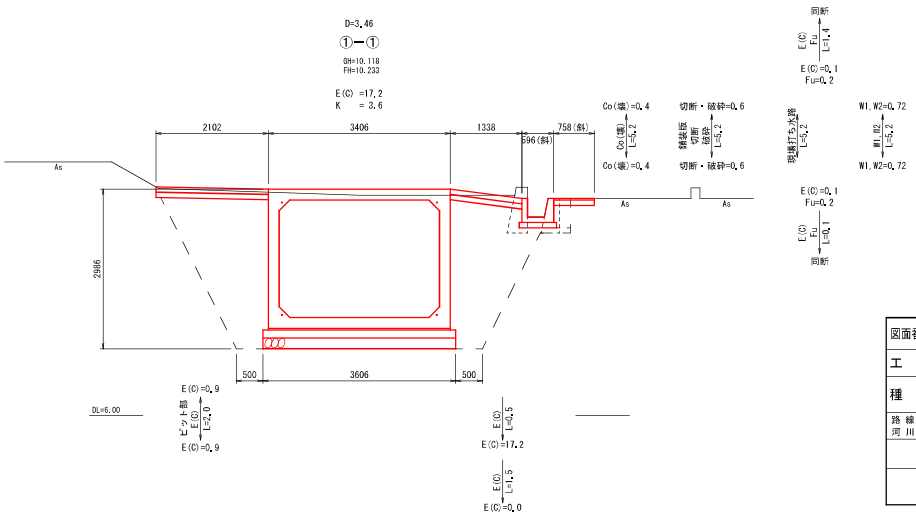
コンクリート	=	66.4 m2
	=	6.6 m3
型枠	=	2.2 m2
路盤（再生砕石）	=	66.4 m2

縦　断　面　図

S=1:50

A－A





図面番号	3／6	縮尺	図示
工種	消防水利事業		
種別	平面図・縦断面図・横断面図・詳細図	番号	1／1
路線河川名			
	東広島市豊栄町安宿		
	東広島市		

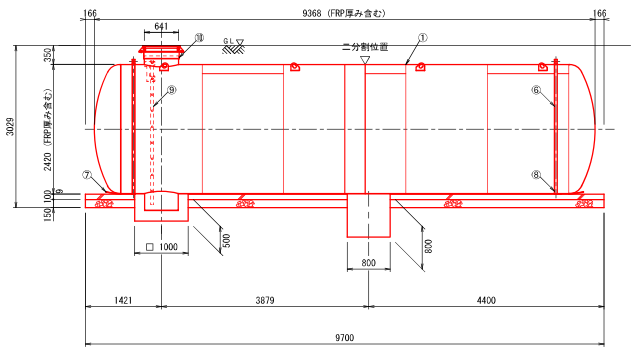
構造参考図

二次製品耐震性貯水槽 構造一般図

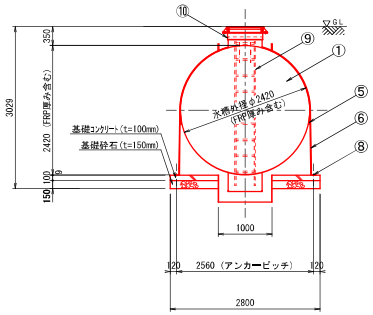
S=1/50

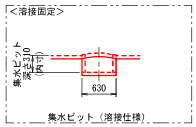
FRP製耐震性貯水槽
FSF419-1A【相当品】　ドライ仕様 土被り0.35m
[40m3型]

側 面 図

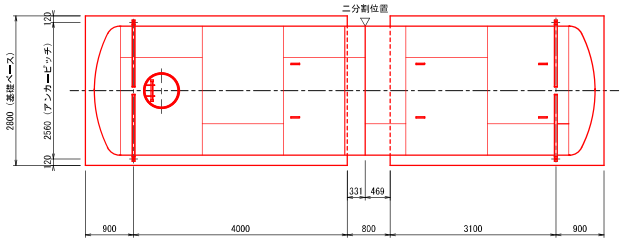


断 面 図





平 面 図



設計条件

設計荷重	Ⅰ型	Q=10kN/m2
土　被　り		0.35 m
必要地耐力		※1

土被り(m)	地下水位(m)
0.35	1.40 以上
0.4	1.40 以上
0.4	1.35 以上
0.4	1.30 以上
0.4	1.25 以上
0.4	1.20 以上
0.4	1.10 以上
0.4	0.45 以上
0.4	0.30 以上
0.4	0.20 以上
0.4	0.05 以上
0.4	0.0 以上
0.4	0.0 以上

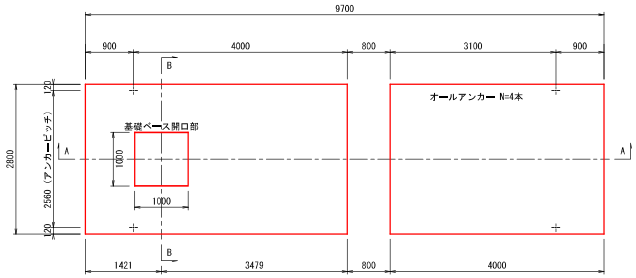
本紙使用条件（ドライ仕様）

No.	名　　称	材　質	数量	仕　様	備　　考
①	本体	SS400	1	t8×φ2400	
②	吸管投入孔鉄蓋	鋳鉄	1	φ600	客先仕様による
③	調整リング	コンクリート	―	φ600	オプション【基本別途】
④	ﾏﾝﾎｰﾙ高さ調節ﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ	ﾒｯｷ、SS400	―	M16	オプション【基本別途】
⑤	保護ゴムシートA	ゴム	2以上	W120×t3	仮固定バンド用、数量は仮固定バンド数により変わる
⑥	仮固定バンド	SS400	2以上	―	
⑦	保護ゴムシートB	ゴム	1式	W400×t9	
⑧	オールアンカー	SS400	4以上	M16×100L	仮固定バンド用、数量は仮固定バンド数により変わる
⑨	梯子	FRP	1	―	全長は埋設深さにより変わる
⑩	調整金具	SS400	1	―	

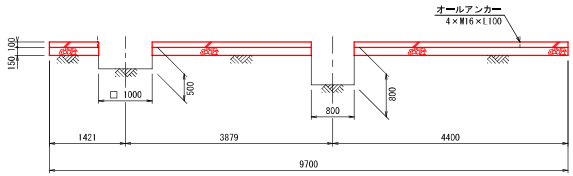
基 礎 詳 細 図

S=1/50

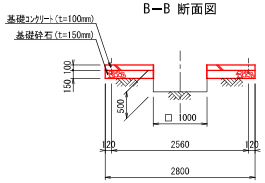
平 面 図



A―A 断面図



B―B 断面図



※1　現場条件及び使用する製品仕様等確認のうえ算出すること。

基礎材料表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	2.392
同上型枠	小型Ⅰ	m2	3.300
基礎砕石	RC-40, t=150mm	m2	3.588
オールアンカー		本	4.0

図面番号	4／6	縮尺	図　示
工　種	消 防 水 利 事 業		
種　別	構　造　図	番号	1／3
路線 河川 名			
	東広島市豊栄町安宿		
	東　広　島　市		

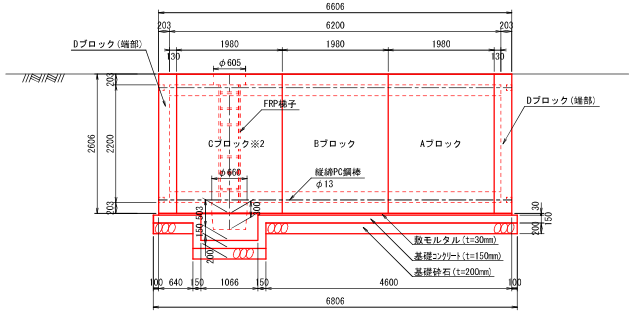
構造参考図

二次製品耐震性貯水槽 構造一般図

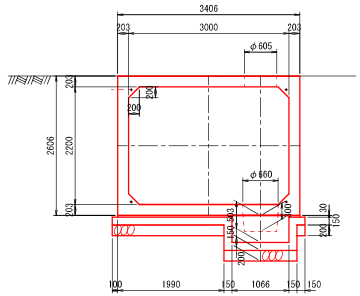
S=1/50

コンクリート製耐震性貯水槽
ASH-322-Ⅰ型【相当品】 空地用 土被り0.0m
[40m3型]

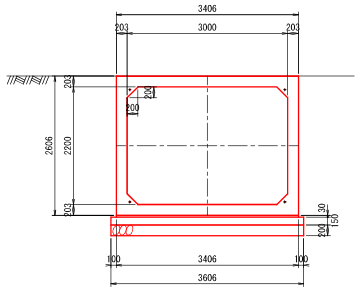
側 面 図



A—A 断面図



B—B 断面図

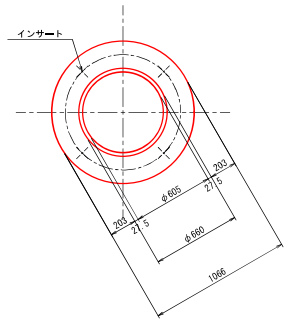


底設ピット詳細図

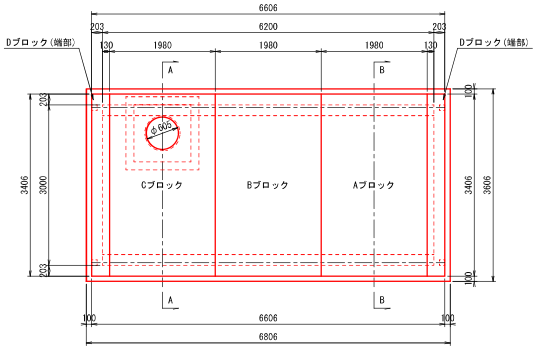
S=1/20

1ピットタイプ

平 面 図



平 面 図



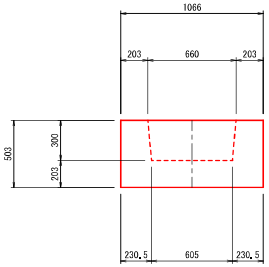
設計条件

設計荷重	Ⅰ型	Q=10kN/m2
土 被 り		0 m
必要地耐力		※4

材料集計表

部 材 名 称	参考質量 (kg/個)	仕様個数 (個)	参考質量 (t)
中間部材 Aブロック	11663	1	11.7
中間部材 Bブロック	11663	1	11.7
中間部材 Cブロック	11333	1	11.3
端部材 Dブロック	5288	2	10.6
集水ピット	888	1	0.9
		合 計	46.2

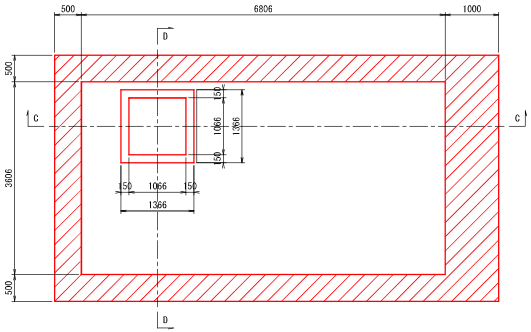
断 面 図



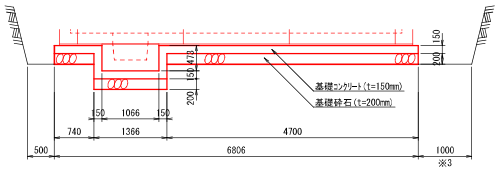
基 礎 詳 細 図

S=1/50

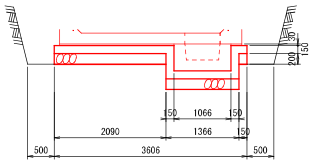
平 面 図



C—C 断面図



D—D 断面図



基礎材料表 1箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	4.026
同上型枠	小型Ⅰ	m2	7.725
敷モルタル		m3	0.675
基礎砕石	RC-40, t=200mm	m2	24.542

※2 耐震性貯水槽Cブロック(ピット)にはFRP梯子が取りついている。
※3 ＰＣ緊張作業スペース確保の為、いずれか一方は必ず１ｍ以上の離隔をとること。
※4 現場条件及び使用する製品仕様等確認のうえ算出すること。

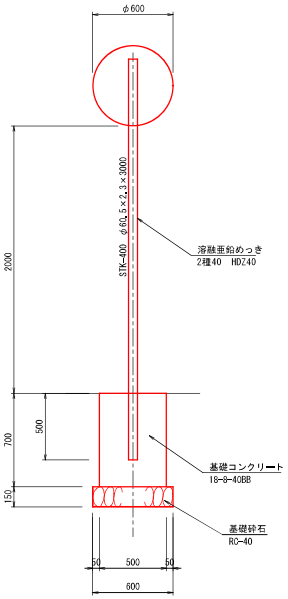
図面番号	5/6	縮尺	図 示
工 種	消防水利事業		
種 別	構 造 図	番号	2/3
路線 河川 名			
	東広島市豊栄町安宿		
	東 広 島 市		

構造参考図

構　造　図

標識構造図
S=1/20

全　体　図
（正面）



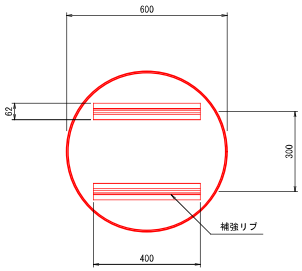
溶融亜鉛めっき

種　別	単位	数　量
付着量	g/m2	400以上
平均メッキ膜厚	μm	56以上

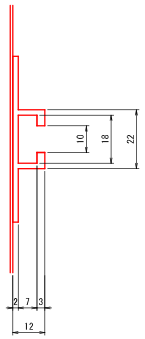
標識詳細図
S=1/10

正　面　図

背　面　図

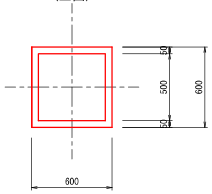


側　面　図



基礎詳細図
S=1/20

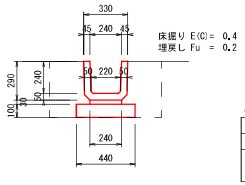
平　面　図
（正面）



数量表（基礎工）　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	0.175
同上型枠	小型Ⅰ	m2	1.40
基礎砕石	RC-40	m2	0.36
	t=150mm	m3	0.054

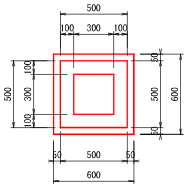
U型水路 ※5
S=1:20

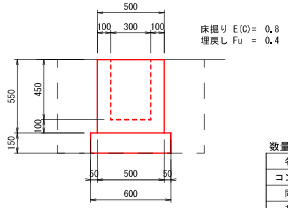


数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
U型側溝	240	個	16.7
基礎砕石	RC-40	m2	4.40
	t=100mm	m3	0.44

現場打集水桝 ※5
S=1:20

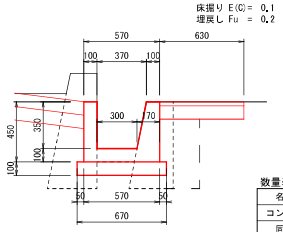




数量表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.097
同上型枠	小型Ⅰ	m2	1.76
基礎砕石	RC-40	m2	0.36
	t=150mm	m3	0.054

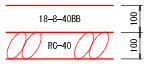
現場打水路 ※5
S=1:20



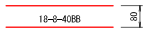
数量表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.39
同上型枠	小型Ⅰ	m2	18.09
基礎砕石	RC-40	m2	6.70
	t=100mm	m3	0.67

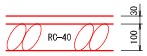
張りコンクリート
S=1:10



防草コンクリート
S=1:10



歩道部舗装
S=1:10



※5　U型水路、現場打集水桝、現場打ち水路については、現地状況・前後施設確認の上選定すること。

図面番号	6／6	縮尺	図示
工　種	消防水利事業		
種　別	構造図	番号	3／3
路線 河川 名			
	東広島市豊栄町安宿		
	東広島市		

参　考　図　書

工 事 名 称 ：　令和8年度　消防水利整備事業

豊栄町安宿地区耐震性貯水槽整備設計施工一括工事

＜注意事項＞

1　本工事は、数量公開の対象工事です。

2　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、

契約上の拘束をするものではありません。

3　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として次の施設を見込んでいる。

安宿1工区

種別	施設の名称	所在地	運搬距離(km)
粘性土	有限会社広剛産業福富残土処分場1	東広島市福富町上戸野大井出1460-1	11.3

安宿2工区

種別	施設の名称	所在地	運搬距離(km)
粘性土	有限会社広剛産業福富残土処分場1	東広島市福富町上戸野大井出1460-1	11.5

安宿3工区

種別	施設の名称	所在地	運搬距離(km)
粘性土	有限会社ドイ産業　リサイクル施設	東広島市豊栄町安宿273-3	2.8

・当該工事により発生する建設資材廃棄物は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

安宿3工区

種別	施設の名称	所在地	運搬距離(km)
Co殻（無筋）	(有)ドイ産業　リサイクル施設	東広島市豊栄町安宿273-3	2.8
As殻	〃	〃	〃

総括情報表

変更回数	0	
適用単価地区	47 東広島市(豊栄)	
単価適用日	00-08.05.01(0)	
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種	09 公園工事	
施工地域・工事場所区分	00 補正なし	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
豊栄町安宿地区(1工区)					X1000
耐震性貯水槽	1	式			Y1E01　レベル1
土工	1	式			Y1E0101　レベル2
作業土工	1	式			Y1E010601　レベル3
床掘り 【粘性土】	1	式			Y1E01060102レベル4
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	180	m3			SPK25040015 00 単第0 -0001　表
埋戻し 【再生土】	1	式			Y1E01060103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	110	m3			SPK25040020 00 単第0 -0002　表
基面整正	29	m2			Y1E01060104レベル4

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正	29	m2			SPK25040017 00 単第0 -0003　表
土材料	150	m3			Y1E01060113レベル4
補足土 処理土(ほぐし)	150	m3			F0101　　00
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	120	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 【粘性土】	180	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)	180	m3			SPK25040002 00 単第0 -0005　表
残土等処分 【粘性土】	180	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂処分費 粘性土	180	m3			F0102　　00
基礎工	1	式			Y1M0202　　レベル2
基礎工	1	式			Y1A010503　レベル3
基礎コンクリート 【18-8-40BB】	2	m3			Y1A01020303レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2	m3			SPK25040157 00 単第0 -0006　表
型枠 【一般型枠】	3	m2			Y1A01080407レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	3	m2			SPK25040159 00 単第0 -0007　表
基礎砕石 【RC-40】	24	m2			Y1M02060401レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	24	m2			SPK25040034 00 単第0 -0008　表

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震性貯水槽工	1	式			Y2999　レベル2
耐震性貯水槽	1	式			Y3999　レベル3
耐震性貯水槽	1	式			Y4999　レベル4
本体部材 FRP製	1	式			V7000　00 単第0 -0009　表
本体据付工 FRP製	1	式			V8000　00 単第0 -0010　表
認定申請料 二次製品防火水槽等手数料規定	1	式			F0001　00
散水車	1	日			Y4999　レベル4
散水車 トラック架装型 タンク容量10,000L	1	日			V0001　00 単第0 -0011　表
水道料金	40	m3			Y4999　レベル4

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
水道料金 臨時用	40	m3			F0002　　00
張りコンクリート	1	式			Y1E0106　　レベル2
張りコンクリート	1	式			Y1E010606　レベル3
基礎材 【RC-40,敷厚10cm】	66	m2			Y1E01060601レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	66	m2			SPK25040034 00 単第0 -0012　表
コンクリート 【18-8-40BB】 【一般養生】	7	m3			Y1E01060603レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	7	m3			SPK25040157 00 単第0 -0013　表
型枠 【一般型枠】	4	m2			Y1E01060605レベル4

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4	m2			SPK25040159 00 単第0 -0007　表
防草コンクリート	1	式			Y1E0106　レベル2
防草コンクリート	1	式			Y1E010606　レベル3
コンクリート 【18-8-40BB】 【一般養生】	1	m3			Y1E01060603レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1	m3			SPK25040157 00 単第0 -0013　表
型枠 【一般型枠】	1	m2			Y1E01060605レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2			SPK25040159 00 単第0 -0007　表
標識工	1	式			Y1E0209　レベル2
標識工	1	式			Y1A011203　レベル3

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識柱 【φ60.5×2.3×3000】	1	基			Y1A01120301レベル4
標識柱設置 φ60.5×2.3×3000 基礎コンクリート・基礎砕石有	1	基			V0002　00 単第0 -0014　表
標識板 【φ600,アルミ合金】	1	枚			Y1A01120302レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	枚			SS000223　00 単第0 -0017　表
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E011501　レベル3
敷鉄板 【22×1524×3048】	19	m2			Y1E01150104レベル4
敷鉄板設置	19	m2			S1050041　00 単第0 -0018　表
敷鉄板撤去	19	m2			S1050043　00 単第0 -0020　表

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間4日	4	枚			S1050029　00 単第0 -0021　表
交通管理工	1	式			Y1E011521　レベル3
交通誘導警備員	1	人			Y1E01152101レベル4
交通誘導警備員B	1	人			R0369　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04　レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001　レベル3
仮設材運搬費	3	t			YZZ04001004レベル4

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 25.3km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 単第0 -0022　表
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 25.3km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 単第0 -0025　表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　レベル3
土質試験費	1	式			YZZ06001001レベル4
サウンディングおよび原位置試験 スクリューウエイト貫入試験 GL-10m以内	4	m			TSE045　00
設計費	1	式			Y4999　レベル4
設計費	1	式			V0100　00 単第0 -0028　表

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

豊栄町安宿地区(1工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
豊栄町安宿地区(2工区)					X2000
耐震性貯水槽	1	式			Y1E01　レベル1
土工	1	式			Y1E0101　レベル2
作業土工	1	式			Y1E010601　レベル3
床掘り 【粘性土】	1	式			Y1E01060102レベル4
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	180	m3			SPK25040015 00 単第0 -0001　表
埋戻し 【再生土】	1	式			Y1E01060103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	110	m3			SPK25040020 00 単第0 -0002　表
基面整正	25	m2			Y1E01060104レベル4

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正	25	m2			SPK25040017 00 単第0 -0003　表
土材料	140	m3			Y1E01060113レベル4
補足土 処理土(ほぐし)	140	m3			F0101　　00
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	120	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 【粘性土】	180	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)	180	m3			SPK25040002 00 単第0 -0005　表
残土等処分 【粘性土】	180	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂処分費 粘性土	180	m3			F0102　　00
基礎工	1	式			Y1M0202　　レベル2
基礎工	1	式			Y1A010503　レベル3
基礎コンクリート 【18-8-40BB】	4	m3			Y1A01020303レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	4	m3			SPK25040157 00 単第0 -0006　表
型枠 【一般型枠】	8	m2			Y1A01080407レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	8	m2			SPK25040159 00 単第0 -0007　表
基礎砕石 【RC-40】	25	m2			Y1M02060401レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	25	m2			SPK25040034 00 単第0 -0008　表

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル練	0.7	m3			Y4999　レベル4
モルタル練 普通	0.7	m3			SPK25040158 00 単第0 -0036　表
耐震性貯水槽工	1	式			Y2999　レベル2
耐震性貯水槽	1	式			Y3999　レベル3
耐震性貯水槽	1	式			Y4999　レベル4
本体部材 コンクリート製	1	式			V1000　00 単第0 -0037　表
本体据付工 コンクリート製	1	式			V2000　00 単第0 -0038　表
縦締工	1	式			V3000　00 単第0 -0039　表
グラウト工	1	式			V4000　00 単第0 -0040　表

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
目地防水工	1	式			V5000 00 単第0 -0041 表
防火水槽定着部材	1	式			F6001 00
認定申請料 二次製品防火水槽等手数料規定	1	式			F0001 00
散水車	1	日			Y4999 レベル4
散水車 トラック架装型 タンク容量10,000L	1	日			V0001 00 単第0 -0011 表
水道料金	40	m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
水道料金 臨時用	40	m3			F0002 00
張りコンクリート	1	式			Y1E0106 レベル2

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
張りコンクリート	1	式			Y1E010606　レベル3
基礎材 【RC-40,敷厚10cm】	63	m2			Y1E01060601レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	63	m2			SPK25040034 00 単第0 -0012　表
コンクリート 【18-8-40BB】 【一般養生】	6	m3			Y1E01060603レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	6	m3			SPK25040157 00 単第0 -0006　表
型枠 【一般型枠】	4	m2			Y1E01060605レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4	m2			SPK25040159 00 単第0 -0007　表
標識工	1	式			Y1E0209　　レベル2
標識工	1	式			Y1A011203　レベル3

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識柱 【φ60.5×2.3×3000】	1	基			Y1A01120301レベル4
標識柱設置 φ60.5×2.3×3000 基礎コンクリート・基礎砕石有	1	基			V0002　00 単第0 -0014　表
標識板 【φ600,アルミ合金】	1	枚			Y1A01120302レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	枚			SS000223　00 単第0 -0017　表
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E011501　レベル3
敷鉄板 【22×1524×3048】	5	m2			Y1E01150104レベル4
敷鉄板設置	5	m2			S1050041　00 単第0 -0018　表
敷鉄板撤去	5	m2			S1050043　00 単第0 -0020　表

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間4日	1	枚			S1050029　00 単第0 -0021　表
交通管理工	1	式			Y1E011521　レベル3
交通誘導警備員	1	人			Y1E01152101レベル4
交通誘導警備員B	1	人			R0369　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04　レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001　レベル3
仮設材運搬費	0.8	t			YZZ04001004レベル4

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 0.9km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 単第0 -0042　表
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 25.4km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 単第0 -0045　表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　レベル3
土質試験費	1	式			YZZ06001001レベル4
サウンディングおよび原位置試験 スクリューウエイト貫入試験 GL-10m以内	4	m			TSE045　00
設計費	1	式			Y4999　レベル4
設計費	1	式			V0100　00 単第0 -0028　表

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

豊栄町安宿地区(2工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
豊栄町安宿地区(3工区)					X3000
耐震性貯水槽	1	式			Y1E01　レベル1
土工	1	式			Y1E0101　レベル2
作業土工	1	式			Y1E010601　レベル3
床掘り 【粘性土】	1	式			Y1E01060102レベル4
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	180	m3			SPK25040015 00 単第0 -0001　表
埋戻し 【再生土】	1	式			Y1E01060103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	100	m3			SPK25040020 00 単第0 -0002　表
基面整正	25	m2			Y1E01060104レベル4

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正	25	m2			SPK25040017 00 単第0 -0003　表
土材料	130	m3			Y1E01060113レベル4
補足土 処理土(ほぐし)	130	m3			F0101　　00
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	110	m3			SPK25040002 00 単第0 -0048　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 【粘性土】	180	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	180	m3			SPK25040002 00 単第0 -0048　表
残土等処分 【粘性土】	180	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂処分費 粘性土	180	m3			F0103　　00
基礎工	1	式			Y1M0202　　レベル2
基礎工	1	式			Y1A010503　レベル3
基礎コンクリート 【18-8-40BB】	4	m3			Y1A01020303レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	4	m3			SPK25040157 00 単第0 -0006　表
型枠 【一般型枠】	8	m2			Y1A01080407レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	8	m2			SPK25040159 00 単第0 -0007　表
基礎砕石 【RC-40】	25	m2			Y1M02060401レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	25	m2			SPK25040034 00 単第0 -0008　表

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル練	0.7	m3			Y4999　レベル4
モルタル練 普通	0.7	m3			SPK25040158 00 単第0 -0036　表
耐震性貯水槽工	1	式			Y2999　レベル2
耐震性貯水槽	1	式			Y3999　レベル3
耐震性貯水槽	1	式			Y4999　レベル4
本体部材 コンクリート製	1	式			V1000　00 単第0 -0037　表
本体据付工 コンクリート製	1	式			V2000　00 単第0 -0038　表
縦締工	1	式			V3000　00 単第0 -0039　表
グラウト工	1	式			V4000　00 単第0 -0040　表

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
目地防水工	1	式			V5000 00 単第0 -0041 表
防火水槽定着部材	1	式			F6001 00
認定申請料 二次製品防火水槽等手数料規定	1	式			F0001 00
散水車	1	日			Y4999 レベル4
散水車 トラック架装型 タンク容量10,000L	1	日			V0001 00 単第0 -0011 表
水道料金	40	m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
水道料金 臨時用	40	m3			F0002 00
張りコンクリート	1	式			Y1E0106 レベル2

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
張りコンクリート	1	式			Y1E010606　レベル3
基礎材 【RC-40,敷厚10cm】	66	m2			Y1E01060601レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	66	m2			SPK25040034 00 単第0 -0012　表
コンクリート 【18-8-40BB】 【一般養生】	7	m3			Y1E01060603レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	7	m3			SPK25040157 00 単第0 -0006　表
型枠 【一般型枠】	2	m2			Y1E01060605レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	2	m2			SPK25040159 00 単第0 -0007　表
排水構造物工	1	式			Y1E0109　　レベル2
側溝工	1	式			Y1E010903　レベル3

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
プレキャストU型側溝 【240[240×240×600]】	9	m			Y1E01090301レベル4
U型側溝 鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372) 240[240×240×600]	9	m			SDT00013　00 単第0 -0049　表
集水桝・マンホール工	1	式			Y1E010905　レベル3
現場打ち集水桝 【現場打ち集水桝,18-8-40BB】	2	箇所			Y1E01090502レベル4
集水桝 500×500×550	2	箇所			V0003　00 単第0 -0050　表
場所打水路工	1	式			Y1E010907　レベル3
現場打水路 【内幅300,内高350,18-8-40BB】	5	m			Y1E01090701レベル4
現場打ち水路	5	m			V0004　00 単第0 -0051　表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112　レベル2

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206　レベル3
コンクリート構造物取壊し 【無筋構造物,機械施工】	2	m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	2	m3			SDT00031　00 単第0 -0052　表
舗装版切断 【As舗装版,t=3cm】	6	m			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m			SPK25040307 00 単第0 -0053　表
舗装版破砕 【As舗装版,t=3cm】	3	m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)	3	m2			SPK25040018 00 単第0 -0054　表
排水構造物撤去工	1	式			Y1E011208　レベル3
暗渠排水管撤去 【撤去】	7	m			Y1E01120805レベル4

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
暗渠排水管 撤去 直管 200～400mm	7	m			SPK25040093 00 単第0 -0055　表
集水桝撤去 【製品質量50(kg/基)】	1	基			Y1E01120807レベル4
プレキャスト集水桝 撤去 製品質量(kg/基)50kg以上80kg以下	1	基			SPK25040096 00 単第0 -0056　表
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3
殻運搬 【Co殻】	2	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	2	m3			SPK25040155 00 単第0 -0057　表
殻運搬 【As殻】	0.1	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)	0.1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0058　表
殻処分 【Co殻】	6	t			Y1E01121602レベル4

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分費 Co殻	6	t			F0104　　00
殻処分 【As殻】	0.2	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分費 As殻	0.2	t			F0105　　00
標識工	1	式			Y1E0209　　レベル2
標識工	1	式			Y1A011203　レベル3
標識柱 【φ60.5×2.3×3000】	1	基			Y1A01120301レベル4
標識柱設置 φ60.5×2.3×3000 基礎コンクリート・基礎砕石有	1	基			V0002　　00 単第0 -0014　表

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識板 【φ600,アルミ合金】	1	枚			Y1A01120302レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	枚			SS000223　00 単第0 -0017　表
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521　レベル3
交通誘導警備員	1	人			Y1E01152101レベル4
交通誘導警備員B	1	人			R0369　00
舗装	1	式			Y1E02　レベル1
舗装工	1	式			Y1E0204　レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404　レベル3

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤(歩道部) 【RC-40,仕上り厚10cm】	4	m2			Y1E02040402レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	4	m2			SPK25040236 00 単第0 -0059　表
表層(歩道部) 【再生密粒度アスコン(13)】 【舗装厚3cm,平均幅員1.4m未満】	4	m2			Y1E02040410レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	4	m2			SPK25040247 00 単第0 -0060　表
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　　レベル3
土質試験費	1	式			YZZ06001001レベル4

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
サウンディングおよび原位置試験 スクリューウエイト貫入試験 GL-10m以内	4	m			TSE045　00
設計費	1	式			Y4999　レベル4
設計費	1	式			V0100　00 単第0 -0028　表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					

豊栄町安宿地区(3工区)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

床掘り　SPK25040015　単第0 -0001　表

土砂 標準　土留方式無し 障害無し　1　m3　当り

機械構成比: 22.47%　労務構成比: 53.87%　材料構成比: 23.66%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 244.12000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	22.47%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	53.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	23.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

埋戻し　SPK25040020　単第0 -0002　表

最大埋戻幅1m以上4m未満　1　m3　当り

機械構成比:　9.29%　労務構成比:　82.13%　材料構成比:　8.58%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　2,025.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	7.79%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5～0.6t	1.41%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5～0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.09%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	40.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.45%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

埋戻し　　SPK25040020　　単第0 -0002　表

最大埋戻幅1m以上4m未満　　1　m3　当り

機械構成比:　9.29%　労務構成比:　82.13%　材料構成比:　8.58%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　2,025.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=3　最大埋戻幅1m以上4m未満			D=1　-(全ての費用)		

施工単価表

基面整正　SPK25040017　単第0 -0003　表

1　m2　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　508.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬　SPK25040002　単第0 -0004　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 44.67%　労務構成比: 40.44%　材料構成比: 14.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,050.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　標準 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=16　距離5.5km以下(4.0km超)			B=1　バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1　DID区間無し		

施工単価表

土砂等運搬　SPK25040002　単第0 -0005　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 44.67%　労務構成比: 40.44%　材料構成比: 14.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,808.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　標準 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=33　距離11.5km以下(9.5km超)			B=1　バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1　DID区間無し		

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0006　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　バックホウ(クレーン機能付)打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.50%　労務構成比: 34.96%　材料構成比: 61.54%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 36,531.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0006　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　バックホウ(クレーン機能付)打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.50%　労務構成比: 34.96%　材料構成比: 61.54%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 36,531.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

型枠　SPK25040159　単第0 -0007　表

一般型枠　鉄筋・無筋構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 10,100.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0008　表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.04%　労務構成比:　74.10%　材料構成比:　20.86%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.01%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0008　表

砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.04%　労務構成比:　74.10%　材料構成比:　20.86%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3　砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

本体部材　　V7000　　単第0 -0009　表

FRP製　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
FSF-419-1A(相当品) φ2420×L9368　二分割型 (付属品・運搬費込み)	1	式			
マンホール φ600　T-14	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

本体据付工　　V8000　　単第0 -0010　表

FRP製　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	4	人			
溶接工	2	人			
橋りょう塗装工	2	人			
普通作業員	4	人			
土木一般世話役	2	人			
特殊作業員	1	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1	日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

散水車　　V0001　　単第0 -0011　表

トラック架装型　　タンク容量10,000L　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1	人			
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	43.45	L			
[(11)欄]散水車 トラック仮装型 タンク容量10000L	1	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0012　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.33%　労務構成比:　78.32%　材料構成比:　16.35%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,263.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.30%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	11.39%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　SPK25040034　単第0 -0012　表

砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.33%　労務構成比:　78.32%　材料構成比:　16.35%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,263.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0013　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.68%　材料構成比: 71.32%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

標識柱設置　　V0002　　単第0 -0014　表

φ60.5×2.3×3000　　基礎コンクリート・基礎砕石有　　1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.175	m3			単第0-0015　表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.4	m2			単第0-0016　表
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	0.36	m2			単第0-0008　表
路側用鋼管柱 外径φ60.5×厚2.3×長3000 STK400,下地亜鉛めっき,静電粉体塗装	1	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

コンクリート　SPK25040157　単第0 -0015　表

小型構造物 18-8-40BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 41.15%　材料構成比: 58.85%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 36,756.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠　SPK25040159　単第0 -0016　表

一般型枠　小型構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

標識板設置　SS000223　単第0 -0017　表

警戒・規制・指示・路線番号標識　[規]2基以下　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
標識板設置【手間のみ】 警戒・規制・指示・路線番号標識	1.000	基			
標識板 φ600 封入レンズ	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
1基当り		基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=3　警戒・規制・指示・路線番号標識 F=1　- H=1　標識板材料【登録単価CODE】(基)			D=5　[規]2基以下 G=2　標識板材料費を加算		

施工単価表

敷鉄板設置　S1050041　単第0 -0018　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			
とび工	0.152	人			
普通作業員	0.152	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			単第0-0019　表
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

機-28_バックホウ運転(賃料)　S9035　単第0 -0019　表

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	119.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.06	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=19　クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=119　軽油消費量(L/日) D=1.06　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

敷鉄板撤去　S1050043　単第0 -0020　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			
とび工	0.143	人			
普通作業員	0.143	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			単第0-0019　表
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

敷鉄板賃料　S1050029　単第0 -0021　表

22×1524×3048,802kg/枚　賃貸期間4日　1　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 90日以内	4.000	枚・日			
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 整備費	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=3　22×1524×3048,802kg/枚 C=4　敷鉄板賃貸期間（日）			B=1　賃料 D=2　整備費有り		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0022　表

運搬距離 25.3km　製品長 12m以内　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 25.3km 製品長 12m以内 運搬質量 3t	1.000	式			単第0-0023　表
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0024　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=25.3　運搬距離(km) C=1　- E=3　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=2　基地積込み,現場取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　S1000009　単第0 -0023　表

運搬距離 25.3km　製品長 12m以内 運搬質量 3t　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	3.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=25.3　運搬距離(km) D=3　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0024　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	3.000	t			
仮設材取卸し費（現場）	3.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=2　基地積込み,現場取卸し			D=3　運搬質量(t)		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0025　表

運搬距離 25.3km　製品長 12m以内　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 25.3km 製品長 12m以内 運搬質量 2t	1.000	式			単第0-0026　表
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0027　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=25.3　運搬距離(km) C=1　- E=2　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=3　現場積込み,基地取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　S1000009　単第0 -0026　表

運搬距離 25.3km　製品長 12m以内 運搬質量 2t　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	2.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=25.3　運搬距離(km) D=2　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0027　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（現場）	2.000	t			
仮設材取卸し費（基地）	2.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=3　現場積込み,基地取卸し			D=2　運搬質量(t)		

施工単価表

設計費　　V0100　　単第0 -0028　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設計計画	1	式			単第0-0029　表
設計条件の確認及び調査	1	式			単第0-0030　表
構造形式選定	1	式			単第0-0031　表
実施設計図の作成	1	式			単第0-0032　表
数量計算	1	式			単第0-0033　表
関係機関との協議資料作成	1	式			単第0-0034　表
報告書作成	1	式			単第0-0035　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

設計計画　　V0101　　単第0 -0029　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	0.5	人			
技師 (A)	0.5	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

設計条件の確認及び調査　V0102　単第0 -0030　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	0.5	人			
技師 (A)	1	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

構造形式選定　　V0103　　単第0 -0031　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A)	0.5	人			
技師 (B)	1	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

実施設計図の作成　　V0104　　単第0 -0032　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (B)	1	人			
技師 (C)	1.5	人			
技師 (D) (技術員)	1.5	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

数量計算　　V0105　　単第0 -0033　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (B)	0.5	人			
技師 (C)	1	人			
技師 (D) (技術員)	1.5	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

関係機関との協議資料作成　　V0106　　単第0 -0034　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A)	0.5	人			
技師 (B)	1	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

報告書作成　　V0107　　単第0 -0035　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (B)	0.5	人			
技師 (C)	1	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

モルタル練　　SPK25040158　　単第0 -0036　表

普通　　1　m3　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　82.04%　材料構成比:　17.96%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　102,720.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2　普通			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

本体部材　　V1000　　単第0 -0037　表

コンクリート製　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震性貯水槽　Aブロック B3000×H2200×1980	1	基			
耐震性貯水槽　Bブロック B3000×H2200×1980	1	基			
耐震性貯水槽　Cブロック B3000×H2200×1980	1	基			
耐震性貯水槽　Dブロック B3000×H2200×130	2	基			
底設ピット φ660×300	1	基			
入孔鉄蓋	1	組			
点検用梯子 FRP製	1	組			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

本体据付工　　V2000　　単第0 -0038　表

コンクリート製　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			
特殊作業員	3.3	人			
普通作業員	2.9	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

縦締工　　V3000　　単第0 -0039　表

1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	1.5	人			
普通作業員	1.5	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

グラウト工　　V4000　　単第0 -0040　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
グラウト材 　セメント	26.3	kg			
混和材 　マスターフロー	0.263	kg			
特殊作業員	0.5	人			
普通作業員	1	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

目地防水工　　V5000　　単第0 -0041　表

1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
樹脂目地材 ポリウレタン樹脂	45.8	kg			
防水材 モルタル	0.02	m3			
防水工	2	人			
諸雑費	20	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0042　表

運搬距離 0.9km　製品長 12m以内　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 0.9km 製品長 12m以内 運搬質量 0.8t	1.000	式			単第0-0043　表
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0044　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=0.9　運搬距離(km) C=1　- E=0.8　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=4　現場積込み・取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　S1000009　単第0 -0043　表

運搬距離 0.9km　製品長 12m以内 運搬質量 0.8t　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	0.800	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=0.9　運搬距離(km) D=0.8　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0044　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材取卸し費（現場）	0.800	t			
仮設材積込み費（現場）	0.800	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=4　現場積込み・取卸し			D=0.8　運搬質量(t)		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0045　表

運搬距離 25.4km　製品長 12m以内　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 25.4km 製品長 12m以内 運搬質量 0.8t	1.000	式			単第0-0046　表
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0047　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=25.4　運搬距離(km) C=1　- E=0.8　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=3　現場積込み,基地取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　S1000009　単第0 -0046　表

運搬距離 25.4km　製品長 12m以内 運搬質量 0.8t　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	0.800	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=25.4　運搬距離(km) D=0.8　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0047　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（現場）	0.800	t			
仮設材取卸し費（基地）	0.800	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=3　現場積込み,基地取卸し			D=0.8　運搬質量(t)		

施工単価表

土砂等運搬　SPK25040002　単第0 -0048　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 44.67%　労務構成比: 40.44%　材料構成比: 14.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 758.59000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　標準 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=9　距離3.0km以下(2.0km超)			B=1　バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1　DID区間無し		

施工単価表

U型側溝　　SDT00013　　単第0 -0049　表

鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372)　240[240×240×600]　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=600_60kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
鉄筋コンクリートU形(JISA5372)240 240×240×600 参考質量55kg	1.653	本			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.041	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=3　240[240×240×600] I=1　-			B=1　鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372) G=1　時間的制約なし J=1　-		
K=2　RC-40			M=1　-		

施工単価表

集水桝　　V0003　　単第0 -0050　表

500×500×550　　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.097	m3			単第0-0015　表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.76	m2			単第0-0016　表
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	0.36	m2			単第0-0008　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

現場打ち水路　　V0004　　単第0 -0051　表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	1.39	m3			単第0-0015　表
型枠 一般型枠 小型構造物	18.09	m2			単第0-0016　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	6.7	m2			単第0-0012　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0052　表

機械施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=1　-			B=1　機械施工 D=1　時間的制約なし		

施工単価表

舗装版切断　SPK25040307　単第0 -0053　表

アスファルト舗装版　アスファルト舗装版厚15cm以下　1　m　当り

機械構成比: 15.05%　労務構成比: 58.43%　材料構成比: 26.52%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　SPK25040307　単第0 -0053　表

アスファルト舗装版　アスファルト舗装版厚15cm以下　1　m　当り

機械構成比: 15.05%　労務構成比: 58.43%　材料構成比: 26.52%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　SPK25040018　単第0 -0054　表

1　m2　当り

機械構成比:　20.13%　労務構成比:　71.97%　材料構成比:　7.90%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　1,747.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

暗渠排水管　SPK25040093　単第0 -0055　表

撤去 直管 200～400㎜　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 416.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	70.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	29.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 撤去 C=2 200～400㎜			B=1 直管 I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

プレキャスト集水桝　SPK25040096　単第0 -0056　表

撤去　製品質量(kg/基)50kg以上80kg以下　1　基　当り

機械構成比:　17.28%　労務構成比:　78.03%　材料構成比:　4.69%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,633.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	16.31%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	61.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	6.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	0.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

プレキャスト集水桝　SPK25040096　単第0 -0056　表

撤去　製品質量(kg/基)50kg以上80kg以下　1　基　当り

機械構成比: 17.28%　労務構成比: 78.03%　材料構成比: 4.69%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,633.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2　撤去 D=1　-(全ての費用)			B=1　製品質量(kg/基)50kg以上80kg以下		

施工単価表

殻運搬　SPK25040155　単第0 -0057　表

Co(無筋)構造物とりこわし　DID区間無し　運搬距離3.3km以下(1.6km超)　1　m3　当り

機械構成比: 40.77%　労務構成比: 44.82%　材料構成比: 14.41%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,105.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

施工単価表

殻運搬　SPK25040155　単第0 -0058　表

舗装版破砕　DID区間無し　運搬距離3.0km以下(2.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 20.25%　労務構成比: 71.03%　材料構成比: 8.72%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,455.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=13　運搬距離3.0km以下(2.5km超)		

施工単価表

下層路盤(歩道部)　SPK25040236　単第0 -0059　表

全仕上り厚100mm 1層施工　RC-40　1　m2　当り

機械構成比: 5.00%　労務構成比: 75.15%　材料構成比: 19.85%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 857.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	17.77%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352

施工単価表

下層路盤(歩道部)　SPK25040236　単第0 -0059　表

全仕上り厚100mm 1層施工　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　5.00%　労務構成比:　75.15%　材料構成比:　19.85%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　857.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100　全仕上り厚(mm) D=1　-(全ての費用)			B=4　RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

表層(歩道部)　SPK25040247　単第0 -0060　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚30mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.46%　労務構成比: 52.19%　材料構成比: 47.35%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,244.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.08%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	41.40%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(歩道部)　SPK25040247　単第0 -0060　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚30mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.46%　労務構成比: 52.19%　材料構成比: 47.35%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,244.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1　平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7　再生密粒度アスコン(13) G=1　- I=1　-(全ての費用)			B=30　1層当り平均仕上り厚(mm) E=2　PK-3 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

消防水利整備事業
耐震性貯水槽整備工事
（豊栄町安宿地区　1工区）

数　量　計　算　書

工　事　名
耐震性貯水槽整備工事

数　量　総　括　表

ﾚﾍﾞﾙ1 工事区分	ﾚﾍﾞﾙ2 工　種	ﾚﾍﾞﾙ3 種　別	ﾚﾍﾞﾙ4 細　別	ﾚﾍﾞﾙ5 規　格		単位	数　量 計上	数　量 設計	摘　要
耐震性貯水槽設置									
	土工								
		作業土工							
			床掘り			式		1	
				床掘り	標準	m3	175.4	180	E(C)
			埋戻し			式		1	
				埋戻し	1m≦W≦4m	m3	111.7	110	Fu
			基面整正			m2		29	
				基面整正		m2	29.2	29	K
			土材料			m3		150	
				補足土	処理土(ほぐし)	m3	148.9	150	
				土砂等運搬	L=4.2km	m3	124.1	120	補足土運搬
		残土処理工							
			土砂等運搬			m3		180	
				土砂等運搬	L=11.3km	m3	175.4	180	
			残土等処分			m3		180	
				処分費	粘性土	m3	175.4	180	
	基礎工								
		基礎工							
			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ			m3		2	
				コンクリート	18-8-40BB	m3	2.4	2	
			型枠			m2		3	
				型枠	一般型枠	m2	3.3	3	
			基礎砕石			m2		24	
				基礎砕石	RC-40,t=20cm	m2	23.9	24	
	耐震性貯水槽工								
		耐震性貯水槽							
			耐震性貯水槽			式		1	
				本体部材	FRP製　40m3Ⅰ型	式	1	1	材料費
				本体据付工	FRP製　40m3Ⅰ型	式	1	1	
				認定申請料	日本消防設備安全センター	式	1	1	
			散水車			日		1	
				散水車	タンク容量10,000L	日	1.0	1	
			水道料金			m3		40	
				水道料金	臨時用	m3	40.0	40	
	張りコンクリート								
		張りコンクリート							平面図参照
			基礎材			m2		66	
				基礎砕石	RC-40,t=10cm	m2	66.1	66	

工　事　名
耐震性貯水槽整備工事

数　量　総　括　表

			コンクリート			m3		7	
				コンクリート	18-8-40BB	m3	6.6	7	
			型枠			m2		4	
				型枠	一般型枠	m2	3.7	4	
	防草コンクリート								
		防草コンクリート							平面図参照
			コンクリート			m3		1	
				コンクリート	18-8-40BB	m3	1.2	1	
			型枠			m2		1	
				型枠	一般型枠	m2	1.3	1	
	標識工								
		標識工							平面図参照
			標識柱			基		1	
				標識柱設置	φ60.5×2.3×3000	基	1.0	1	
			標識板			枚		1	
				標識板設置	φ600,アルミ合金	枚	1.0	1	
	仮設工								
		工事用道路工							
			敷鉄板			m2		19	
				敷鉄板設置		m2	18.6	19	N=4枚 802kg/枚
				敷鉄板撤去		m2	18.6	19	
				敷鉄板賃料	22×1524×3048	枚	4.0	4	賃貸期間N=4日
		交通管理工							
			交通誘導警備員			人		1	
				交通誘導警備員B		人	1.0	1	
運搬費									
	運搬費								
		運搬費							
			仮設材運搬費			t		3	
				仮設材等運搬	運搬距離L=25.3km	式	1	1	運搬質量3t 基地積込→現場取卸
				仮設材等運搬	運搬距離L=25.3km	式	1	1	運搬質量2t 現場積込→基地取卸
技術管理費									
	技術管理費								
		技術管理費							
			土質試験費			式		1	
				サウンディング および原位置試験		m	4	4	
			設計費			式		1	
				設計費		式	1	1	

計第 1 表

土　工　集　計　表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量										適用
作業土工														
	床掘　E(GF)	粘性土	m3	175.4										
	埋戻　Fu	再生土	m3	111.7										
	基面整正　K(GF)	〃	m2	29.2										
残土処理工														
	土砂等運搬	粘性土	m3	175.4										
	処分費	〃	m3	175.4										
補足土購入														
	購入土	再生土	m3	148.9										
	補足土運搬	〃	m3	124.1										

計第 2 表

土　量　配　分　表

発生土（地山）

	土質	工種	地山量
切土	粘性土	C(C)	
		計	
	礫質土	C(GF)	
		計	

運搬	変化率による換算		締固土量
	0	×0.9	0.0
計			0

盛　土

	工種	土量
盛土		
	B	0.0
計		0

捨　土

工種	土量
粘性土	175.4
計	175.4

発生土（地山）

	土質	工種	地山量
床堀	粘性土	C(C)	175.4
	礫質土	C(GF)	
計			175.4

補足土

補　足　土	地山量
	148.9

（補足土運搬量=124.1）

	工種	土量	
埋戻	Fu	111.7	（締固め土）
計		111.7	

計第 3 表　　土　工　　計 算 書

	距 離	床 掘 E (C)			埋戻し Fu			基面整正 K		
		断面	平均断面	数 量	断面	平均断面	数 量	断面	平均断面	数 量
		0.0								
①-①	1.5	14.8	7.40	11.1				2.8		
②-②	5.2	14.7	14.75	76.7				2.8	2.80	14.6
③-③	5.2	14.3	14.50	75.4				2.8	2.80	14.6
	1.5	0.0	7.15	10.7						
集水ピット		1.00×1.00×0.25＝		0.3						
溶接部作業用スペース		0.80×2.80×0.55＝		1.2						
					控除数量					
					貯水槽本体控除					
					(計第5表参照)		43.3			
					基礎コンクリート控除					
					(計第5表参照)		2.4			
					基礎砕石控除					
					(計第5表参照)		3.6			
					張コンクリート(砕石含む)控除					
					(平面図参照)					
					66.1×0.2＝		13.2			
					防草コンクリート控除					
					(平面図参照)		1.2			
					小計(控除数量)		63.7			
計				175.4	175.4-63.7=		111.7			29.2

計第 4 表

貯 水 槽 工 集 計 表 集 計 表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量										適用
FRP製耐震性貯水槽														
基礎工	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	2.4										
	基礎ｺﾝ型枠	無筋構造物	m2	3.3										
	基礎砕石	RC-40	m2	23.9										
	基礎砕石	RC-40	m3	3.6										
本体工	FRP製耐震性貯水槽	40m3 Ⅰ型 1体型	基	1										
	マンホール蓋	Ⅱ型仕様 T-14 転落防止蓋付	組	1										

計第 5 表　　本体工基礎 及び 貯水槽本体体積　　数量計算書

項　目	計　算　式	数　量		備考
基礎コンクリート(σck=18N/mm2)				
本体	V＝ (2.8 × 4.9 + 2.8 × 4.0) × 0.1	V＝	2.492	
集水ピット部	V＝1.0 × 1.0 × 0.1	V＝	0.100	
	Σ V＝2.492 - 0.1	ΣV＝	2.392	
型枠	A＝ (2.8 ＋ 4.9 ＋ 2.8 + 4.0) × 0.1 × 2	A＝	2.900	
集水ピット部	A＝4.0 × 0.1	A＝	0.400	
	Σ A＝2.9 + 0.4	ΣA＝	3.300	
基礎砕石(RC-40,t=20cm)				
本体	A＝2.8 × 4.9 + 2.8 × 4.0	A＝	24.920	
集水ピット部	A＝1.0 × 1.0	A＝	1.000	
	Σ A＝24.92 - 1	ΣA＝	23.920	
	Σ V＝23.92 × 0.15	ΣV＝	3.588	
貯水槽本体				
本体堆積	V1＝π×D^2/4×L			
	V1＝3.14 × 2.42 × 2.42 / 4 × 9.368	V1＝	43.067	
投入孔体積	V2＝π×D^2/4×土被り×個数			
	V2＝3.14 × 0.64 × 0.64 / 4 × 0.35 × 1	V2＝	0.113	
ピット体積	V3＝π×D^2/4×ピット高×個数			
	V3＝3.14 × 0.63 × 0.63 / 4 × 0.31 × 1	V3＝	0.097	
	Σ V＝V1＋V2＋V3			
	Σ V＝43.067 ＋ 0.113 ＋ 0.097	ΣV＝	43.277	

消防水利整備事業
耐震性貯水槽整備工事
（豊栄町安宿地区 2工区）

数　量　計　算　書

工　事　名
耐震性貯水槽整備工事

数　量　総　括　表

ﾚﾍﾞﾙ1 工事区分	ﾚﾍﾞﾙ2 工　種	ﾚﾍﾞﾙ3 種　別	ﾚﾍﾞﾙ4 細　別	ﾚﾍﾞﾙ6	規　格	単位	数　量 計上	数　量 設計	摘　要
耐震性貯水槽設置									
	土工								
		作業土工							
			床掘り			式		1	
				床掘り	土砂	m3	183.9	180	E(C)
			埋戻し			式		1	
				埋戻し	1m≦W≦4m	m3	107.4	110	Fu
			基面整正			m2		25	
				基面整正		m2	25.2	25	K
			土材料			m3		140	
				補足土	処理土(ほぐし)	m3	143.2	140	
				土砂等運搬		m3	119.3	120	補足土運搬
		残土処理工							
			土砂等運搬			m3		180	
				土砂等運搬	粘性土	m3	183.9	180	
			残土等処分			m3		180	
				処分費	粘性土	m3	183.9	180	
	基礎工								
		基礎工							
			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ			m3		4	
				コンクリート	18-8-40BB	m3	4.0	4	
			型枠			m2		8	
				型枠	一般型枠	m2	7.7	8	
			基礎砕石			m2		25	
				基礎砕石	RC-40,t=20cm	m2	24.5	25	
			モルタル練			m3		0.7	
				モルタル練	1:03	m3	0.7	0.7	
	耐震性貯水槽工								
		耐震性貯水槽							
			耐震性貯水槽			式		1	
				本体部材	Co製　40m3Ⅰ型	式	1	1	材料費
				本体据付工	Co製　40m3Ⅰ型	式	1	1	
				縦締工		式	1	1	
				グラウト工		式	1	1	
				目地防水工		式	1	1	
				防火水槽定着部材		式	1	1	
				認定申請料	日本消防設備安全センター	式	1	1	
			散水車			日		1	
				散水車	タンク容量10,000L	日	1.0	1	

工　事　名
耐震性貯水槽整備工事

数　量　総　括　表

			水道料金			m3		40	
				水道料金	臨時用	m3	40.0	40	
	張りコンクリート								
		張りコンクリート							平面図参照
			基礎材			m2		63	
				基礎砕石	RC-40,t=10cm	m2	63.0	63	
			コンクリート			m3		6	
				コンクリート	18-8-40BB	m3	6.3	6	
			型枠			m2		4	
				型枠	一般型枠	m2	3.8	4	
	標識工								
		標識工							平面図参照
			標識柱			基		1	
				標識柱設置	φ60.5×2.3×3000	基	1.0	1	
			標識板			枚		1	
				標識板設置	φ600,アルミ合金	枚	1.0	1	
	仮設工								
		工事用道路工							
			敷鉄板			m2		5	
				敷鉄板設置		m2	4.6	5	N=1枚 802kg/枚
				敷鉄板撤去		m2	4.6	5	
				敷鉄板賃料	22×1524×3048	枚	1.0	1	賃貸期間N=4日
		交通管理工							
			交通誘導警備員			人		1	
				交通誘導警備員B		人	1.0	1	
運搬費									
	運搬費								
		運搬費							
			仮設材運搬費			t		0.8	
				仮設材等運搬	運搬距離L=0.9km	式	1	1	運搬質量0.8t 現場積込→取卸
				仮設材等運搬	運搬距離L=25.4km	式	1	1	運搬質量0.8t 現場積込→基地取卸
技術管理費									
	技術管理費								
		技術管理費							
			土質試験費			式		1	
				サウンディング および原位置試験		m	4	4	
			設計費			式		1	
				設計費		式	1	1	

計第 1 表

土　工　集　計　表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量										適用
作業土工														
	床掘　E(C)	粘性土	m3	183.9										
	埋戻　Fu	再生土	m3	107.4										
	基面整正　K	〃	m2	25.2										
残土処理工														
	土砂等運搬	粘性土	m3	183.9										
	処分費	〃	m3	183.9										
補足土購入														
	購入土	再生土	m3	143.2										
	補足土運搬	〃	m3	119.3										

計第 2 表

土　量　配　分　表

発生土（地山）

	土質	工種	地山量
切土	粘性土	C(C)	
		計	
	礫質土	C(GF)	
		計	

運搬	変化率による換算		締固土量
	0	×0.9	0.0
計			0

盛　土

	工種	土量
盛土		
	B	0.0
計		0

捨　土

工種	土量
粘性土	183.9
計	183.9

発生土（地山）

	土質	工種	地山量
床堀	粘性土	C(C)	183.9
	礫質土	C(GF)	
計			183.9

補足土

補　足　土	地山量
	143.2

（補足土運搬量=119.3）

	工種	土量	
埋戻	Fu	107.4	（締固め土）
計		107.4	

計第 3 表　　土　工　　計 算 書

	距 離	床 掘 E (C)			埋戻し Fu			基面整正 K		
		断面	平均断面	数 量	断面	平均断面	数 量	断面	平均断面	数 量
		0.0								
	1.5	18.2	9.10	13.7						
①-①	0.5	18.2	18.20	9.1				3.6		
②-②	3.5	18.2	18.20	63.7				3.6	3.60	12.6
③-③	3.5	18.2	18.20	63.7				3.6	3.60	12.6
	1.0	18.2	18.20	18.2						
	1.5	0.0	9.10	13.7						
集水ピット		0.9								
	2.0	0.9	0.90	1.8						
					控除数量					
					貯水槽本体控除					
					(計第5表参照)		59.2			
					基礎コンクリート控除					
					(計第5表参照)		4.0			
					空練モルタル控除					
					(計第5表参照)		0.7			
					張ｺﾝｸﾘｰﾄ(砕石含む)控除					
					(平面図参照)					
					63×0.2＝		12.6			
					小計(控除数量)		76.5			
計				183.9	183.9-76.5=		107.4			25.2

計第 4 表

貯 水 槽 工 集 計 表 集 計 表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量										適用
コンクリート製耐震性貯水槽														
基礎工	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	4.0										
	基礎ｺﾝ型枠	無筋構造物	m2	7.7										
	基礎砕石	RC-40	m2	24.5										
	基礎砕石	RC-40	m3	4.9										
	空練ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m3	0.7										
本体工	中間部材　Aブロック	B3000×H2200×L1980	基	1										
	中間部材　Bブロック	B3000×H2200×L1980	基	1										
	中間部材　Cブロック	B3000×H2200×L1980	基	1										
	端部材　Dブロック	B3000×H2200×L130	基	2										
	底設ピット	φ660×300	基	1										
	入孔鉄蓋		組	1										
	点検用梯子	FRP製	組	1										

計第 5 表　　本体工基礎 及び 貯水槽本体体積　　数量計算書

項　目	計　算　式	数　量		備考
基礎コンクリート(σck=18N/mm2)				
本体	V＝ (6.806 × 3.606 - 1.366 × 1.366) × 0.15	V＝	3.401	
集水ピット部	V＝1.366 × 1.366 × 0.623 - 1.066 × 1.066 × 0.473	V＝	0.625	
	Σ V＝3.401 ＋ 0.625	ΣV＝	4.026	
型枠	A＝ (6.806 ＋ 3.606) × 2 × 0.15	A＝	3.124	
集水ピット部	A＝1.366 × 0.473 × 4 + 1.066 × 0.473 × 4	A＝	4.601	
	Σ A＝3.124 ＋ 4.601	ΣA＝	7.725	
基礎砕石(RC-40,t=20cm)				
本体	A＝6.806 × 3.606 - 1.366 × 1.366	A＝	22.676	
集水ピット部	A＝1.366 × 1.366	A＝	1.866	
	Σ A＝22.676 ＋ 1.866	ΣA＝	24.542	
	Σ V＝24.542 × 0.2	ΣV＝	4.908	
空練ﾓﾙﾀﾙ(1:3)				
	Σ V＝6.606 × 3.406 × 0.03	ΣV＝	0.675	
貯水槽本体				
本体堆積	V1＝L×W×H			
	V1＝6.606 × 3.406 × 2.606	V1＝	58.635	
ピット体積	V2＝L×W×H			
	V2＝1.066 × 1.066 × 0.503	V2＝	0.572	
	Σ V＝V1＋V2			
	Σ V＝58.635 ＋ 0.572	ΣV＝	59.207	

消防水利整備事業
耐震性貯水槽整備工事
（豊栄町安宿地区　3工区）

数　量　計　算　書

工　事　名
耐震性貯水槽整備工事

数　量　総　括　表

ﾚﾍﾞﾙ1 工事区分	ﾚﾍﾞﾙ2 工　種	ﾚﾍﾞﾙ3 種　別	ﾚﾍﾞﾙ4 細　別	ﾚﾍﾞﾙ6	規　格	単位	数　量 計上	数　量 設計	摘　要
耐震性貯水槽設置									
	土工								
		作業土工							
			床掘り			式		1	
				床掘り	土砂	m3	181.5	180	E(C)
			埋戻し			式		1	
				埋戻し	1m≦W≦4m	m3	100.3	100	Fu
			基面整正			m2		25	
				基面整正		m2	25.2	25	K
			土材料			m3		130	
				補足土	処理土(ほぐし)	m3	133.7	130	
				土砂等運搬		m3	111.4	110	補足土運搬
		残土処理工							
			土砂等運搬			m3		180	
				土砂等運搬	土砂	m3	181.5	180	
			残土等処分			m3		180	
				処分費	土砂	m3	181.5	180	
	基礎工								
		基礎工							
			基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ			m3		4	
				コンクリート	18-8-40BB	m3	4.0	4	
			型枠			m2		8	
				型枠	一般型枠	m2	7.7	8	
			基礎砕石			m2		25	
				基礎砕石	RC-40,t=20cm	m2	24.5	25	
			モルタル練			m3		0.7	
				モルタル練	1:3	m3	0.7	0.7	
	耐震性貯水槽工								
		耐震性貯水槽							
			耐震性貯水槽			式		1	
				本体部材	Co製　40m3Ⅰ型	式	1	1	材料費
				本体据付工	Co製　40m3Ⅰ型	式	1	1	
				縦締工		式	1	1	
				グラウト工		式	1	1	
				目地防水工		式	1	1	
				防火水槽定着部材		式	1	1	
				認定申請料	日本消防設備安全センター	式	1	1	
			散水車			日		1	
				散水車	タンク容量10,000L	日	1.0	1	

工　事　名
耐震性貯水槽整備工事

数　量　総　括　表

			水道料金			m3		40	
				水道料金	臨時用	m3	40.0	40	
	張りコンクリート								平面図参照
		張りコンクリート							
			基礎材			m2		66	
				基礎砕石	RC-40,t=10cm	m2	66.4	66	
			コンクリート			m3		7	
				コンクリート	18-8-40BB	m3	6.6	7	
			型枠			m2		2	
				型枠	一般型枠	m2	2.2	2	
	排水構造物工								
		側溝工							
			プレキャストU型側溝					9	
				U型側溝	U型240	m	8.8	9	
		集水桝・マンホール工							
			現場打ち集水桝			基		2	
				集水桝	300×300×450	基	2	2	
		場所打水路工							
			現場打水路			m		5	
				現場打水路		m	5.2	5	
	構造物撤去工								
		構造物取壊し工							
			コンクリート構造物取壊し			m3		2	
				構造物とりこわし工	無筋構造物	m3	2.1	2	
			舗装版切断			m		6	
				舗装版切断	t=3cm	m	6.4	6	
			舗装版破砕			m2		3	
				舗装版破砕積込 (小規模土工)	t=3cm	m2	3.1	3	
		排水構造物撤去工							
			暗渠排水管撤去			m		7	
				暗渠排水管	φ250	m	7.4	7	
			集水桝撤去			基		1	
				プレキャスト集水桝	50kg～80kg未満	基	1	1	
		運搬処理工							
			殻運搬			m3		2	
				殻運搬	Co(無筋)	m3	2.4	2	
			殻運搬			m3		0.1	
				殻運搬	As	m3	0.1	0.1	
			殻処分			t		6	
				殻処分	Co(無筋)	t	5.6	6	

工　事　名
耐震性貯水槽整備工事

数　量　総　括　表

			殻処分			t		0.2	
				殻処分	As	t	0.2	0.2	
	標識工								平面図参照
		標識工							
			標識柱			基		1	
				標識柱設置	φ60.5×2.3×3000	基	1.0	1	
			標識板			枚		1	
				標識板設置	φ600,アルミ合金	枚	1.0	1	
	仮設工								
		交通管理工							
			交通誘導警備員			人		1	
				交通誘導警備員B		人	1.0	1	
舗装									
	舗装工								
		アスファルト舗装工							
			下層路盤(歩道部)			m2		4	
				下層路盤(歩道部)	RC-40,t=10cm	m2	3.6	4	
			表層(歩道部)			m2		4	
				表層(歩道部)	再生密粒度ｱｽｺﾝ,t=10cm	m2	3.6	4	
技術管理費									
	技術管理費								
		技術管理費							
			土質試験費			式		1	
				サウンディング および原位置試験		m	4	4	
			設計費			式		1	
				設計費		式	1	1	

計第 1 表

土　工　集　計　表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量										適用
作業土工														
	床掘　E(GF)	粘性土	m3	181.5										
	埋戻　Fu	再生土	m3	100.3										
	基面整正　K(GF)	〃	m2	25.2										
残土処理工														
	土砂等運搬	粘性土	m3	181.5										
	処分費	〃	m3	181.5										
補足土購入														
	購入土	再生土	m3	133.7										
	補足土運搬	〃	m3	111.4										

計第 2 表

土　量　配　分　表

発生土（地山）

	土質	工種	地山量
切土	粘性土	C(C)	
		計	
	礫質土	C(GF)	
		計	

運搬	変化率による換算		締固土量
	0	×0.9	0.0
計			0

盛　土

	工種	土量
盛土		
	B	0.0
計		0

捨　土

工種	土量
粘性土	181.5
計	181.5

発生土（地山）

	土質	工種	地山量
床堀	粘性土	C(C)	181.5
	礫質土	C(GF)	
計			181.5

補足土

補　足　土	地山量
	133.7

（補足土運搬量=111.4）

	工種	土量	
埋戻	Fu	100.3	（締固め土）
計		100.3	

計第 3 表　　土　工　　計 算 書

	距 離	床 掘 E (C)			埋戻し Fu			基面整正 K		
		断面	平均断面	数 量	断面	平均断面	数 量	断面	平均断面	数 量
		0.0								
	1.5	17.2	8.60	12.9						
①-①	0.5	17.2	17.20	8.6				3.6		
②-②	3.5	17.7	17.45	61.1				3.6	3.60	12.6
③-③	3.5	17.9	17.80	62.3				3.6	3.60	12.6
	1.0	17.9	17.90	17.9						
	1.5	0.0	8.95	13.4						
集水ピット		0.9								
	2.0	0.9	0.90	1.8						
県道側側溝		0.1			0.2					
①-①付近	0.1	0.1	0.10	0.1	0.2	0.20	0.0			
		0.1			0.2					
	1.4	0.1	0.10	0.1	0.2	0.20	0.3			
敷地内水路		0.4			0.2					
	6.0	0.4	0.40	2.4	0.2	0.20	1.2			
		0.8			0.4					
	1.1	0.8	0.80	0.9	0.4	0.40	0.4			
					小計(埋戻し)		1.9			
					控除数量					
					貯水槽本体控除					
					(計第5表参照)		59.2			
					基礎コンクリート控除					
					(計第5表参照)		4.0			
					空練モルタル控除					
					(計第5表参照)		0.7			
					集水桝控除					
					0.5×0.5×0.55=		0.1			
					0.6×0.6×0.15=		0.1			
					U型側溝控除					
					0.142×2.7=		0.4			
					既設水路撤去部控除					
					0.447×3.4=		1.5			
					張ｺﾝｸﾘｰﾄ控除(砕石含む)					
					(平面図参照)	66.4×0.2=	13.3			
					小計(控除数量)		79.3			
計				181.5	181.5-1.9-79.3=		100.3			25.2

計第 4 表

貯 水 槽 工 集 計 表 集 計 表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量										適用
コンクリート製耐震性貯水槽														
基礎工	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm2	m3	4.0										
	基礎ｺﾝ型枠	無筋構造物	m2	7.7										
	基礎砕石	RC-40	m2	24.5										
	基礎砕石	RC-40	m3	4.9										
	空練ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m3	0.7										
本体工	中間部材　Aブロック	B3000×H2200×L1980	基	1										
	中間部材　Bブロック	B3000×H2200×L1980	基	1										
	中間部材　Cブロック	B3000×H2200×L1980	基	1										
	端部材　Dブロック	B3000×H2200×L130	基	2										
	底設ピット	φ660×300	基	1										
	入孔鉄蓋		組	1										
	点検用梯子	FRP製	組	1										

計第 5 表　　本体工基礎，貯水槽本体体積　　数量計算書

項　　目	計　　算　　式	数　量		備考
基礎コンクリート(σck=18N/mm2)				
本体	V＝（6.806 × 3.606 - 1.366 × 1.366）× 0.15	V＝	3.401	
集水ピット部	V＝1.366 × 1.366 × 0.623 - 1.066 × 1.066 × 0.473	V＝	0.625	
	Σ V＝3.401 ＋ 0.625	ΣV＝	4.026	
型枠	A＝（6.806 ＋ 3.606）× 2 × 0.15	A＝	3.124	
集水ピット部	A＝1.366 × 0.473 × 4 + 1.066 × 0.473 × 4	A＝	4.601	
	Σ A＝3.124 ＋ 4.601	ΣA＝	7.725	
基礎砕石(RC-40,t=20cm)				
本体	A＝6.806 × 3.606 - 1.366 × 1.366	A＝	22.676	
集水ピット部	A＝1.366 × 1.366	A＝	1.866	
	Σ A＝22.676 ＋ 1.866	ΣA＝	24.542	
	Σ V＝24.542 ＋ 0.2	ΣV＝	4.908	
空練ﾓﾙﾀﾙ(1:3)				
	Σ V＝6.606 × 3.406 × 0.03	ΣV＝	0.675	
貯水槽本体				
本体堆積	V1＝L×W×H			
	V1＝6.606 × 3.406 × 2.606	V1＝	58.635	
ピット体積	V2＝L×W×H			
	V2＝1.066 × 1.066 × 0.503	V2＝	0.572	
	Σ V＝V1＋V2			
	Σ V＝58.635 ＋ 0.572	ΣV＝	59.207	

計第 6 表　　排水構造物工，構造物撤去工，舗装工

種　別	細　別	規　格	単位	数　量										適用
排水構造物工														
	U型側溝	240	m	8.8										
	現場打ち集水桝	300×300×450	基	2.0										
	現場打水路	300×350	m	5.2										
構造物撤去工														
	コンクリート構造物取壊し		m3	2.1										A=0.447m2
	舗装版切断		m	6.4										t=3cm
	舗装版破砕		m2	3.1										t=3cm
			m3	0.1										
	暗渠排水管撤去	φ250	m	7.4										A=0.024m2
	集水桝撤去	250	基	1.0										V=0.062m2
						Co構造物	暗渠管	集水桝						
	殻運搬	Co(無筋)	m3	2.4		2.1	0.2	0.1						
		As	m3	0.1										
	殻処分	Co(無筋)	t	5.6										
		As	t	0.2										
舗装工														
	下層路盤W2	t=10cm	m2	3.6										
	表層W1	t=3cm	m2	3.6										

計第 7 表

排水構造物工，構造物撤去工，舗装工　計算書

	距　離	U型側溝・集水桝設置			現場打ち水路			コンクリート構造物取壊し			舗装版切断(t=3cm)			適用
				延　長			延　長			延　長			延　長	
								0.4					0.6	
①-①	5.2						5.2	0.4	0.40	2.1			5.2	
													0.6	
			集水桝	N=1										
③-③	8.8			8.8										
			集水桝	N=1										
計				8.8			5.2			2.1			6.4	
			集水桝	N=2										

	距　離	舗装版破砕(t=3cm)			暗渠排水管(φ250)・集水桝撤去			歩道舗装(W1,W2)						適用
		断面	平均断面	数　量			延　長	断面	平均断面	数　量				
		0.6						0.7						
①-①	5.2	0.6	0.60	3.1				0.7	0.70	3.6				
③-③							4.7							
						既設桝	N=1							
							2.7							
計				3.1			7.4			3.6				
						集水桝	N=1							